


ELIY Power
太陽光/蓄電ハイブリッドシステム

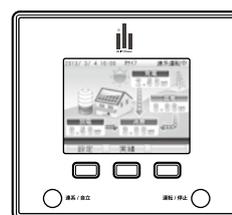
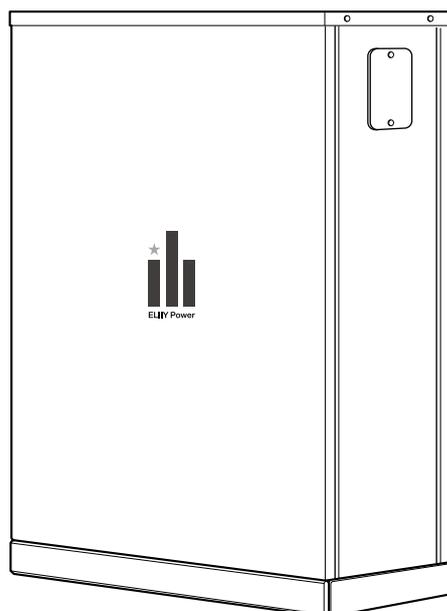
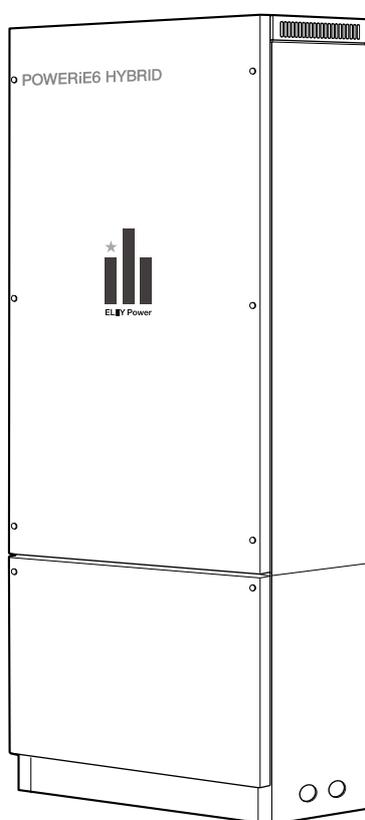
POWER iE6 HYBRID

(パワーイエ・シックス ハイブリッド)

型式：EPS-20H-100 / EPS-20H-200

ユーザーマニュアル ver2.0

保証書別添付



このたびは、エリーパワー製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

このユーザーマニュアル(以下、本書)には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」をよく読み、理解したうえで本製品をお使いください(なお、本書に記載されているイラストや画面例は、簡略化されたもので、実物とは異なることがあります)。

また、本書は一般ユーザー向けに作成されています。設置工事・保守メンテナンスに関しては、専門業者にお任せください(エリーパワーカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店より、専門業者の方に別冊の業者向けマニュアルをご案内します)。

なお、本製品には保証書が添付されています。保証書は、「保証開始日・販売店名」などの必要記載事項が記入されているかを確認したうえで、本書とともに大切に保管してください。

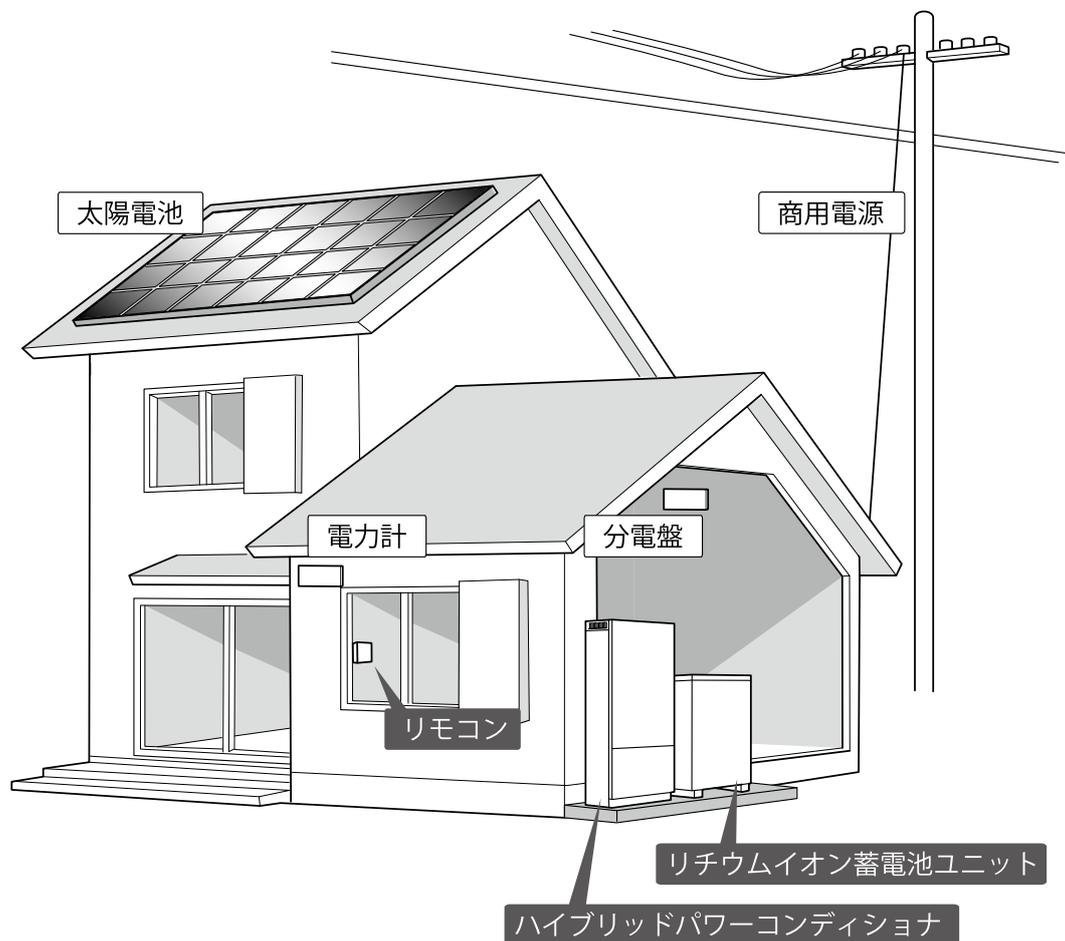
お使いの前に 4 ページ

使用方法 19 ページ

こんなときは 52 ページ

はじめに

太陽エネルギーを利用して、ご家庭で効率的な電力の活用を



本製品の型式(EPS-20H-100 / EPS-20H-200)

EPS-20H-100

太陽光発電システムのパワーコンディショナと大型リチウムイオン電池を内蔵した蓄電システムを一体化した「太陽光/蓄電ハイブリッドシステム」です。太陽電池で発電した電力や本製品に商用電源から供給される電力を貯めて、必要なときに電気を活用することができます。

EPS-20H-200

EPS-20H-100で有している機能に加えて、自立運転(停電)時に200Vの電気を供給することができます。燃料電池等の200V入力に対応した機器を動作させることができます。

※ 停電時に自動で蓄電システム用コンセントから電力が供給されるようにするためには、自動切替ユニット(市販品)が必要です。

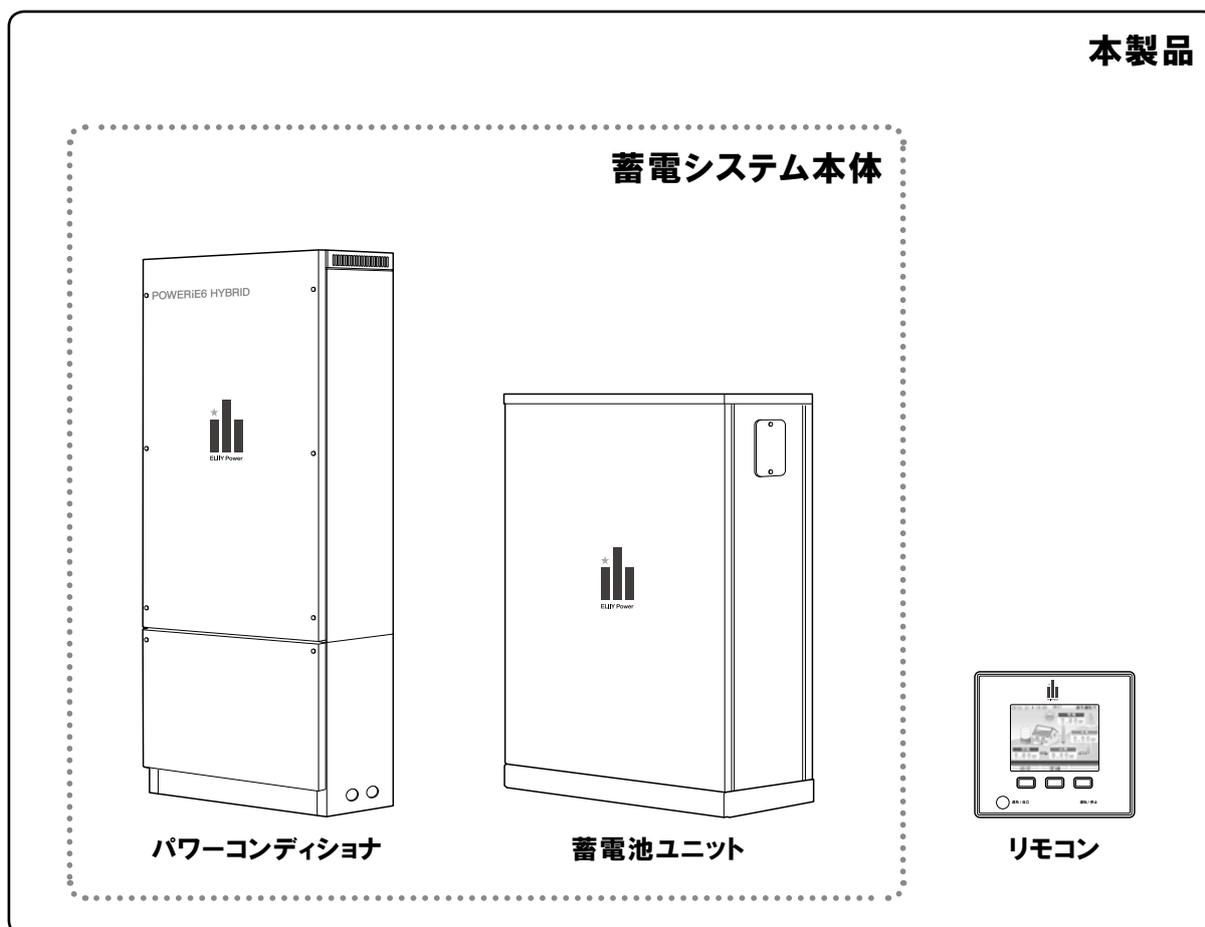
ご確認ください

本製品には太陽電池は含まれません。太陽電池の仕様や取扱方法については、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

システム構成について

ハイブリッドパワーコンディショナ(以下、「パワーコンディショナ」)、リチウムイオン蓄電池ユニット(以下、「蓄電池ユニット」)、リモコンの3つを併せて、「本製品」と呼びます。

パワーコンディショナと蓄電池ユニットを併せて、「蓄電システム本体」と呼びます。



太陽光/蓄電ハイブリッドシステム

1	平常時も停電時も安定した電力を供給	2	停電時の発電/給電	3	TUV-Sマークを取得したリチウムイオン電池を搭載
大型リチウムイオン電池を使用した蓄電システムと太陽光発電システムのパワーコンディショナを一体化した「太陽光/蓄電ハイブリッドシステム」なので、安定した電力を供給することができます。 ※太陽光発電システムは、悪天候など日射が弱いときは発電できない場合があります。		太陽光発電システムは、停電中でも日射があれば発電することができます。太陽光発電システムと蓄電システムとの連携で、昼間は太陽電池から、夜間は蓄電池からというように自動的に電力を供給するので、どんな時間帯の停電でも安心です。		蓄電池ユニットに内蔵された大型リチウムイオン電池は、万が一、内部ショートしても、押しつぶされても、過放電しても、発火しません。 ※国際的認証機関TÜV Rheinland (テュフ ラインランドジャパン)が策定した11項目の試験をクリアし、世界で初めてTUV-Sマークを取得しました。	

目次

太陽光発電システムと蓄電システムの連携で、暮らしに安心と快適を。

- **太陽電池と蓄電池を使って上手に売電したい**
「おサイフモード」を利用できます ▶21ページ
- **太陽電池と蓄電池を使ってかしこく節電したい**
「ecoモード」を利用できます ▶21ページ
- **充電時間を自分で決めたい**
夜間充電時間を設定できます ▶33ページ
- **蓄電池から使用する電力量(放電量)を自分で決めたい**
電池残量の使い切りレベルが設定できます ▶33ページ
- **電力の切り替えや設定を自動的にやってもらいたい**
連系運転なら、日々のお客様の操作は要りません ▶20ページ
- **停電時にも安心して電気を使いたい**
自立運転で太陽電池と蓄電池から電力を供給できます ▶23ページ

お使いの前に

安全にお使いいただくために 4

ご利用に関するおねがい 8

ご利用前に必ずお読みください 8

ユーザー登録のおねがい 10

『パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス』

加入のおねがい 11

システムの概要 12

システム構成 12

各部の名称 14

表示ディスプレイの見方 16

使用方法

はじめてお使いになるときは 19

連系運転(通常時)・自立運転(停電時) 20

運転動作の紹介 20

連系運転時の動作 20

運転モードの解説 21

自立運転時の動作 23

EPS-20H-100/200

(自動切替ユニットあり)の場合 25

EPS-20H-200(自動切替ユニットなし)の場合 26

各種設定 28

日時の設定 28

画面の明るさの設定 29

発電開始日の設定 30

省エネアシスト目標の設定 31

電気代換算の設定 32

運転モード切替え 33

ソフトウェア更新方法の設定 35

自立出力の切替え方法 37

ネットワークの接続および設定 38

実績の確認 42

こんなときは

こんなときは 52

こんなときは 52

エラーが発生したとき 54

エラーメッセージ一覧 55

本書に記載のない異常や故障が発生したとき 56

長期間使用しない場合の対応について 58

出力制御ルールに関するご注意 58

製品の移設・譲渡・利用の終了について 59

点検とお手入れ 61

定期点検について 61

お手入れ方法 61

保証とアフターサービス 62

修理・使い方について 62

製品仕様 64

安全にお使いいただくために

本書では、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためにお守りいただきたいことを、以下のシンボルマークで説明しています。

内容をよく理解されたうえで本書をお読みにになり、記載された内容をお守りのうえご使用ください。

お
使
い
の
前
に

安全性に関する注記事項

本書では、誤った取り扱いをした際に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある」内容を表します。	 注意	「軽傷を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される」内容を表します。
---	----------------------------	---	--

本文中や本製品に使われている注記事項の意味は、次のとおりです。

 禁止	 分解禁止	 火気禁止	 上へのりな
 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止	 警告や注意の喚起	 発火注意
 感電注意	 手をはさまないように注意	 必ず指示を守る	 アースを接続する

安全上のご注意

 警告	
	異常や故障が発生した状態のまま放置しない 蓄電システム本体から異常な音や臭い、煙などが発生した場合やリモコンが機能不全となった場合は、ただちに製品の使用を中止し、住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーをオフにしてください。使用を中止した後は、本製品には触らないでください。感電やけがのおそれ、本製品の故障の原因になります。
	極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しない 本製品を以下のような用途に使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・人命に直接関わる医療機器やシステムへの利用 ・人身の安全に直接関連する負荷との接続 ・本製品の故障により、社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある負荷との接続 ・上記に準ずる用途
	雷が鳴りだしたら、蓄電システム本体に触れたり、周囲に近づいたりしない 落雷による感電のおそれがあります。
	住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーの位置を確認する 本製品に異常が発生した場合に操作する必要があるため、住宅分電盤内のいずれのブレーカーに本製品が接続されているかを、お買い上げの販売店または設置工事を行った電気工業者に事前に確認してください。

 警告	
	蓄電システム本体のパネルやカバーを開けたり、ケーブルや配管を外したりしない 感電やけが、および製品が破損するおそれがあります。
	本製品を分解、改造、加工しない 感電やけがのおそれ、火災、故障の原因になります。また、蓄電池ユニットに内蔵されたりリチウムイオン電池から電解液が漏れ出した場合は、決して触らずにお買い上げの販売店にご連絡ください。
	お客様自身による修理や移設、再設置をしない 感電やけがのおそれ、火災、本製品の故障の原因になります。 修理や移設、再設置が必要な場合には、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご依頼ください。
	本製品を海外で使用しない 本製品は、日本国内仕様です。日本国仕様品を国外で使用すると、電圧、使用環境が異なるため、発煙、発火の原因になることがあります。
	蓄電システム本体の周辺に放熱の妨げとなる物をおかない、放熱穴をふさがない 蓄電システム本体の周辺に放熱の障害となる物を置いたり放熱穴をふさいだりするなど、放熱を妨げると、蓄電システム本体内部の温度が上昇し、本製品の誤動作・故障、火災の原因、やけどの原因になります。蓄電システム本体の周辺には、下記のスペースを確保してください。 ●パワーコンディショナ 上面20cm以上、背面10cm以上、正面60cm以上、両側面20cm以上 ●蓄電池ユニット 背面10cm以上、正面20cm以上、側面(DCスイッチ有)60cm以上、側面(DCスイッチ無)20cm以上
	蓄電システム本体の近くにガス類の容器や引火物を置かない 発火の原因になります。
	蓄電システム本体に火気を近づけない 発火の原因になります。
	蓄電システム本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない 蓄電システム本体の故障やけがの原因になります。
	本製品に物を投げたり、上から物を落としたりしない 本製品の破損による断線、漏電、本製品の故障の原因になります。
	本製品に接続されているケーブルおよび配管に無理な力やダメージを与えない ケーブルの破損による断線、漏電、また蓄電システム本体の故障の原因になります。
	アースとの接続(接地)を確実にする 蓄電システム本体を、アースを接続しない状態で使用すると、故障や漏電があった場合に感電するおそれがあります。 指定工事業者による電気工事が電気設備基準および内線規程に基づいて、アースとの接続が確実にされていることを確認してください。

 注意	
	<p>蓄電システム本体の据付け状態を確認する</p> <p>蓄電システム本体が正常にコンクリート基礎に固定されている状態(アンカーボルトで固定されています)で使用してください。</p> <p>なお、地震や強風により、蓄電システム本体の固定にゆらみなど異常が発生することがあります。そのままの状態で使用した場合、蓄電システム本体の転倒によるけが、蓄電システム本体の故障の原因になります。据付け状態に異常がある場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。</p>
	<p>蓄電システム本体が水に浸かるおそれのある場合は、すぐに住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーを切り、蓄電システム本体に近づかない</p> <p>蓄電システム本体の内部に水が浸入した場合、漏電による火災や感電、本製品の故障の原因になります。なお、一度水に浸かった蓄電システム本体はご使用になれません。</p>
	<p>水はけが悪く、水没するおそれのあるところに蓄電システム本体を設置しない</p> <p>蓄電システム本体の内部に水が浸入した場合、漏電による火災や感電、本製品の故障の原因になります。</p>
	<p>蓄電システム本体を高圧洗浄機などで水洗いしない</p> <p>蓄電システム本体の内部に水が浸入した場合、漏電による火災や感電、本製品の故障の原因になります。</p>
	<p>蓄電システム本体の放熱穴等に異物を混入したり、指や棒を差し込んだりしない</p> <p>蓄電システム本体の放熱穴等に異物を挿入したり、指や棒を差し込んだりしないでください。感電やけがのおそれ、また蓄電システム本体の故障の原因になります。</p>
	<p>本製品の周囲で薬剤を散布しない</p> <p>本製品が腐食、変質、変色するおそれがあります。また、本製品の内部に薬剤が侵入した場合、本製品の故障の原因になります。</p>
	<p>本製品の近くに蒸気、油煙などを出す機器を置かない</p> <p>本製品の故障の原因になります。</p>
	<p>住宅分電盤を濡れた手で操作しない</p> <p>感電やけがのおそれがあります。</p>
	<p>リモコンに水などの液体をかけない</p> <p>リモコンは防水タイプではないため、内部に水などの液体が混入した場合、漏電による火災や感電、リモコンの故障の原因になります。</p>
	<p>リモコンをアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭かない</p> <p>リモコンの変形、変質による故障の原因になります。</p>
	<p>リモコンに物を引っかけたり、ぶらさげたりしない</p> <p>リモコンが破損したり、壁面から外れて落下するおそれがあります。</p>
	<p>定格出力以上の機器を接続しない</p> <p>住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーが動作したり、本製品が正常に動作しないおそれがあります。</p>

 注意	
	仕様から外れた環境下で使用しない 本製品が正常に動作しない、または故障のおそれがあります。
	子供やペットがいたずらしないように注意する けがや事故、本製品の故障の原因になります。
	蓄電システム本体の周囲に落ち葉がたまらないようにする 周囲に落ち葉などがあると、小動物や虫などが集まりやすくなります。小動物や虫などが蓄電システム本体に侵入して内部の電気部品に触れると、火災や故障の原因になります。
	蓄電システム本体が雪に埋まらないようにする 蓄電システム本体の内部に水が浸入した場合、漏電による火災や感電、本製品の故障の原因になります。なお、一度水に浸かった蓄電システム本体はご使用になれません。
	本製品の運転中や運転直後はパワーコンディショナに触らないようにする 周囲の環境や運転状況によりパワーコンディショナのパネルが高温になっている場合があります。

ご利用に関するおねがい

ご利用前に必ずお読みください



設計上の使用期限について

エリーパワー株式会社では、著しく劣化したリチウムイオン電池の利用を控えていただくために、本製品について使用期限(使用開始から10年)を設けています。

本製品に内蔵されたリチウムイオン電池の使用期限が経過した場合には、セーフガード機能が働き、以後、蓄電池への充電ならびに蓄電池からの出力ができなくなります。また、電気製品は、古くなると部品の劣化や摩耗により発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

蓄電池の使用期限が近づいたときは、リモコンの表示ディスプレイに警告画面が表示されますので、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターに連絡のうえ、本製品の点検(有償)をご依頼ください。点検・メンテナンスを受けることによって、使用期限を5年間延長することができます。尚、蓄電池ユニットを停止、もしくは撤去した後、太陽光発電システムとして継続運用する際には、サービスマンによる設定変更が必要となります。また撤去に関しては費用が発生します。



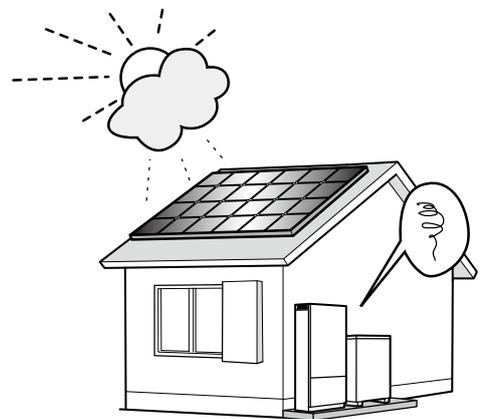
リチウムイオン電池の寿命について

リチウムイオン電池の充電・放電は化学反応を利用しているため、温度に大きく左右される特徴があります。運転モードや環境など、使い方によりリチウムイオン電池の寿命は異なります。周囲温度が高い場所や直射日光があたる場所で長時間使用しますと、リチウムイオン電池の寿命が早まります。推奨設置環境は10℃～30℃です。



太陽光発電システムの発電量について

太陽光発電システムの発電量は、天候により変化します。実際の発電は、日射強度や周囲温度、太陽電池が設置されている方位や角度により異なるため、晴天日であっても常に発電が行われているわけではありません。





本製品からの電力供給について

- 電気機器においては、起動時等に定常電流値を超えて大きな電流が流れることがあります。本製品にこのような電気機器が接続されて使用できる電力を上回った場合、本製品は、安全のため自動的に運転を停止し電力供給をしゃ断します。
- 停電発生時の電力供給は「蓄電池専用回路(特定負荷)」のみとなります。
- 停電発生時に使用できる電力は最大で2.00kWまでです。また、太陽光発電システムで発電した電力を使用するため、天候により出力が不安定になることがあります。消費電力が使用できる電力を上回った場合、本製品は、安全のため自動的に運転を停止し電力供給をしゃ断します。このようなときは、速やかに接続負荷の軽減を行ってください。
- 本製品は、停電を感知すると自動的に自立運転を開始し[※]、約5秒後に「蓄電池専用回路(特定負荷)」に電力を供給します(初期設定は自動切替です。リモコンのボタン操作による手動切替も選択できます)。また、停電復旧時に商用電源からの電力供給に戻す場合には、自動で回路切替を行い、連系運転に戻ります。ただし、漏電のおそれがある場合には、自動切替から手動切替に設定を変更したうえで、電力会社からの指示に従って連系運転を再開してください。

※EPS-20H-200の場合は、別途自動切替ユニット(市販品)が必要です。



使用上のおねがい

- 電氣的雑音の影響を受けると困る電気製品をパワーコンディショナの近くで使用しないでください。電気製品の正常な動作ができなくなる原因となります。
- 受信障害を避けるため、ラジオ・携帯電話などは近くで使用しないでください。
- 自立運転時は、以下のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないでください。
 - ・すべての医療機器、防犯機器との接続
 - ・デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器との接続
 - ・灯油やガスを用いた暖房機器との接続
 - ・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器との接続

ユーザー登録のおねがい

エリーパワー株式会社では、ご購入いただいた本製品に関するユーザー登録※をお願いしております。登録されなかった場合には、故障修理の際にお客様情報の確認にお時間を頂戴するほか、本製品を安全にご使用いただくために重要な情報のお届けが遅れるなどのご不便をおかけするおそれがございますので、すみやかに登録をお願いいたします。

また、本製品を第三者に譲渡される場合には、必ず販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡のうえ、ユーザー登録情報の変更を行ってください。

※ユーザー登録は、本製品に同梱された専用ハガキに必要事項を記入のうえ、ポストに投函していただくことで、『パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス』への加入と同時に申し込みいただけます。

ユーザー登録におけるお客様の個人情報の取り扱い

エリーパワー株式会社は、ユーザー登録に伴いお客様から取得した個人情報を製品保証、修理、製品リサイクル等に関するユーザーサポートのご提供のために利用させていただきます。エリーパワー株式会社は、お客様の個人情報を適切に管理し、配送、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

『パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス』加入のおねがい

エリーパワー株式会社では、本製品をより長くご使用いただくために、本製品のお客様を対象として、『パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス』を用意しております。

『パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス』の内容については、本製品に同梱された『パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス申込みの手引き』をご参照ください。

『パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス』とは

『パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス』にご加入いただいた場合、本製品をインターネット回線に常時接続^{※1}することにより、以下のサービスを受けることができます。

●モニタリングサービス

エリーパワー株式会社の運営するサポートセンターとの間で自動通信が行われ、本製品の運転状況を定期的にサポートセンターに通知します。また、本製品の運転状況に重大な異常が発生した場合には、サポートセンター宛に異常発生通知が自動送信され^{※2}、エリーパワーカスタマーセンターまたは販売店が、予めユーザー登録されたお客様の連絡先^{※3}に、本製品の運転状況について確認させていただきます^{※4}。

●ソフトウェア更新サービス

蓄電池ユニットとリモコンをそれぞれインターネット回線網に常時接続すると、各機器に組み込まれたソフトウェアの更新が可能になります^{※5※6}。

※1 インターネット回線の契約にかかる工事費、初期費用、月々の利用料金はお客様負担となります。インターネットに関わる各種設定は、お客様ご自身で行って下さい。これらのサービスを受けるためには、インターネット回線が常時接続している必要があります（具体的にはADSL、CATV、光回線等を指します）、インターネット回線を契約されていない場合には、このサービスを受けられません。

※2 災害時など通信会社による使用制限が行なわれているときは、ご利用いただけない場合があります。

※3 連絡先が変更された場合には、必ずご通知ください。変更が通知されなかった場合、運転状況に異常を感知した際に連絡が取れず、対応が遅れるまたは出来なくなるおそれがあります。

※4 蓄電池ユニットを停止または撤去した後に本製品を太陽光発電システム用パワーコンディショナとして使用する場合は、モニタリングサービスは受けられなくなります。但し、パワーコンディショナに関するソフトウェア更新サービスは、リモコンがインターネット回線に常時接続されている限り、継続してご利用いただけます。

※5 蓄電池ユニットのソフトウェアは、初期設定ではインターネット回線に常時接続している場合にのみ、自動的に更新されます（ソフトウェアの手動更新も選択することができます）。ソフトウェア更新中は、蓄電池ユニットの一部機能が制限されることがあります。

※6 本製品の運転状況を制御するためのソフトウェアは、インターネット回線に常時接続している場合にのみ、自動的に更新されます。ソフトウェア更新中は、本製品の動作への影響はありません。ソフトウェアを常に最新の状態に保つ必要があるため、インターネット回線に常時接続していない場合の対応は、販売店にご相談ください。

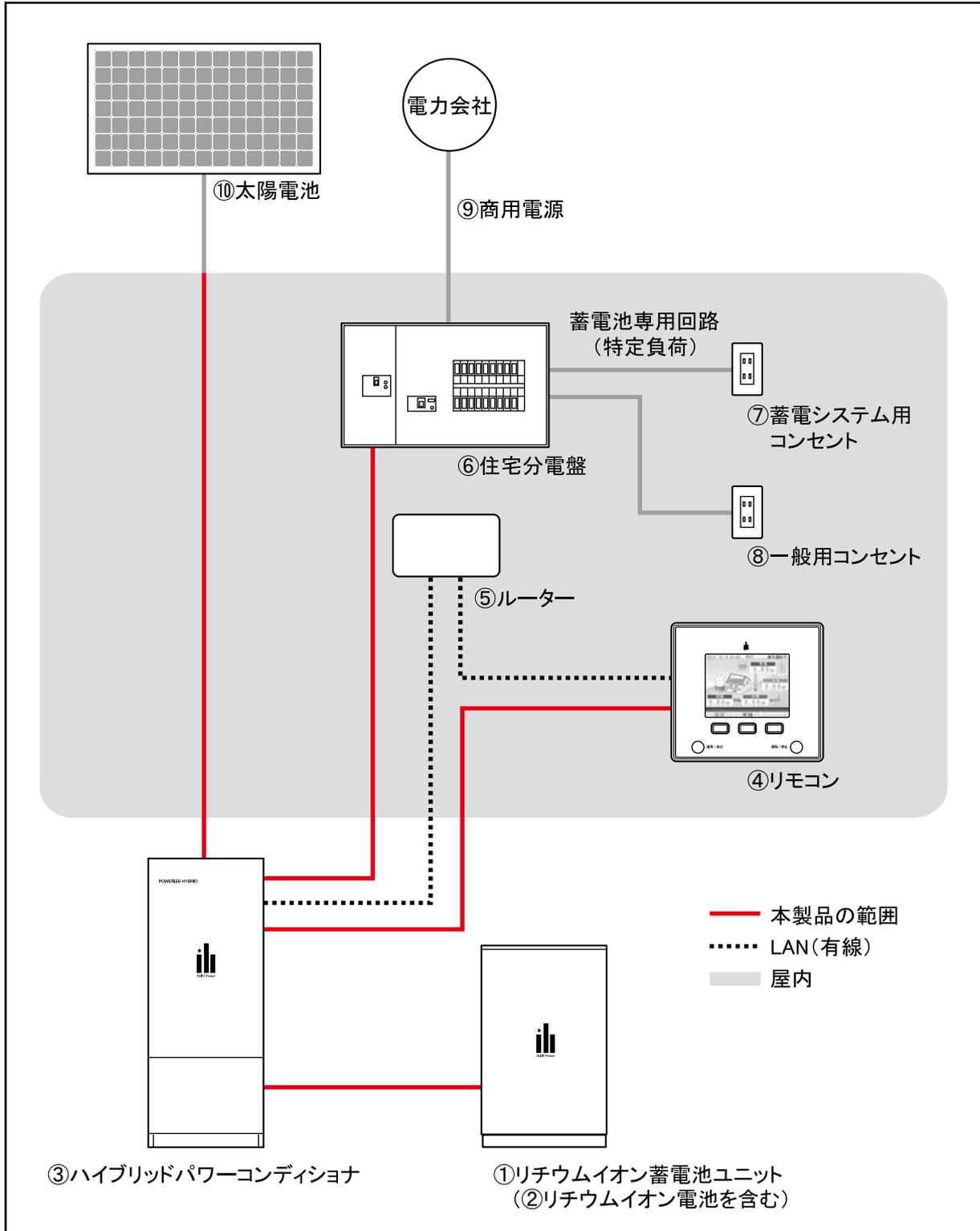
システムの概要

システム構成

各部の名称とはたらき

本製品をご家庭で使用するためにあたっての全体のシステム構成例を以下に示します。

お
使
い
の
前
に



※EPS-20H-200の場合は、住宅分電盤に加え、自動切替ユニット(市販品)が必要な場合があります。

名 称		機 能 や 役 割
①	リチウムイオン蓄電池ユニット* (以降、「蓄電池ユニット」と呼びます)	本製品を構成する設備です。リチウムイオン電池を搭載しています。
②	リチウムイオン電池*	本製品を構成する設備です。電力を貯めることができます。
③	ハイブリッドパワーコンディショナ* (以降、「パワーコンディショナ」と呼びます)	本製品を構成する設備です。蓄電池ユニット、太陽電池、商用電源の電力をコントロールします。パワーコンディショナ単体で太陽光発電システム用パワーコンディショナとして使用できます。
④	リモコン*	本製品を構成する設備です。運転状況をお知らせする表示ディスプレイと、パワーコンディショナのコントローラーを兼ねています。蓄電量の確認や充電・放電時間の設定などは、このリモコンで行います。宅内の壁面に設置され、パワーコンディショナと壁内の配線で接続されています。
⑤	ルーター	住宅内の設備をインターネット回線に接続するための通信装置です。「パワーイエ6・ハイブリッド ごあんしんサービス」を使用するために必要となります。
⑥	住宅分電盤	電気容量のチェックや屋内配線の安全確保などの役割を担う設備です。建物内の配線や電気器具の漏電、ショート、使い過ぎによる過電流を監視し、異常時には電気を自動的にしや断する設備(ブレーカー)が搭載されています。 EPS-20H-200で自動切替ユニット(市販品)がない製品をお使いの場合は、内部のハイブリッドシステム用ブレーカーのスイッチで、電力供給源を切替えます。(通常時:商用電源からの電力供給、停電時:パワーコンディショナの自立出力)
⑦	蓄電システム用コンセント	停電時に本製品からの電源供給が行われるように設定されたコンセントです。通常時も使用できます。
⑧	一般用コンセント	「蓄電システム用コンセント」以外のコンセントです。停電時における本製品からの電力供給は行われません。
⑨	商用電源	電力会社から供給される電源です。
⑩	太陽電池	太陽光エネルギーを直流電力に変換します。

※本書では、①、②、③の組み合わせを「蓄電システム本体」と呼びます。

※本書では、①、②、③、④の組み合わせを「本製品」と呼びます。

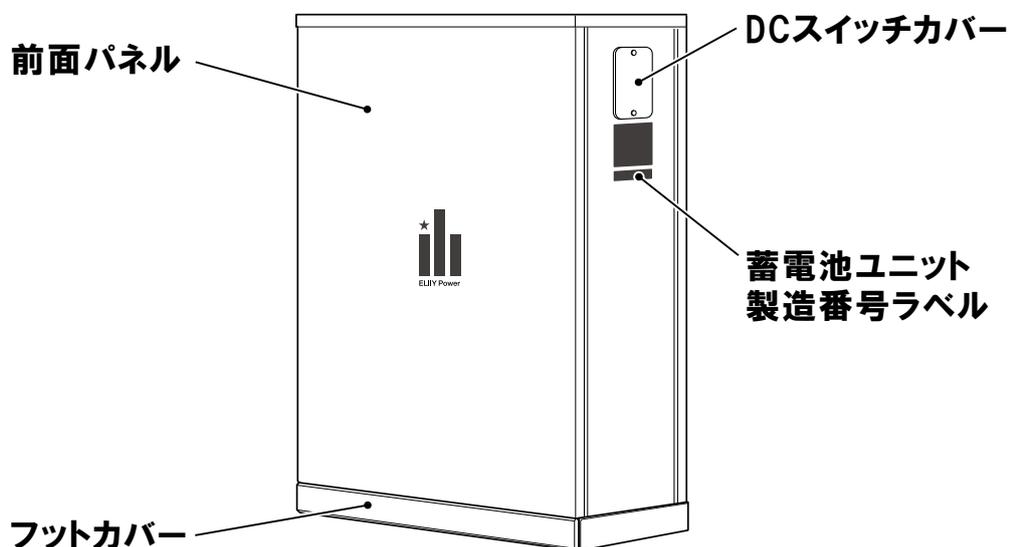


メモ.....

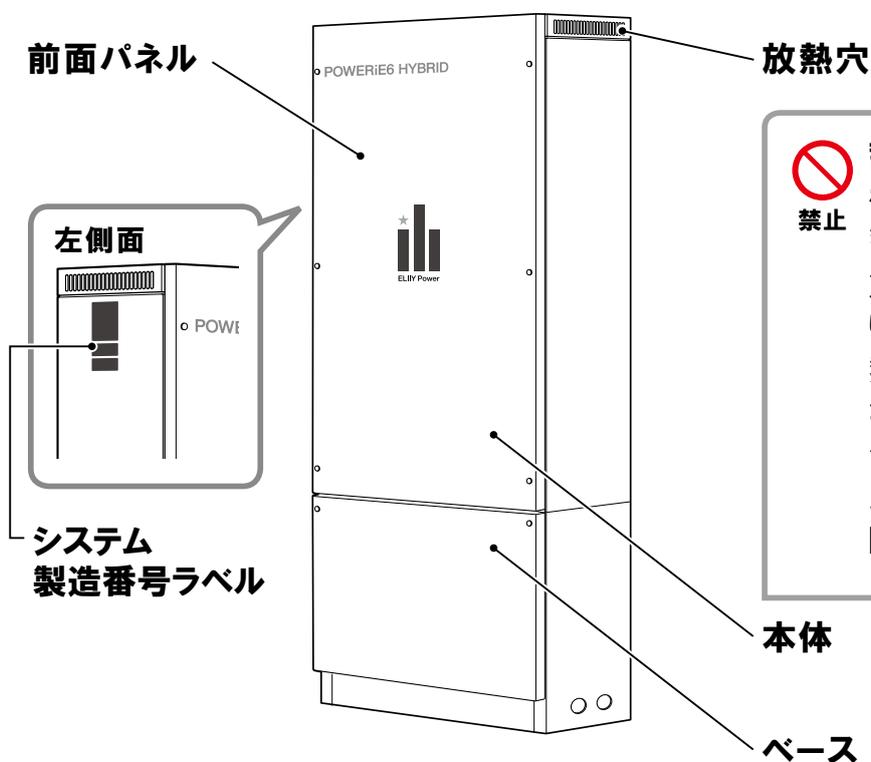
- 太陽電池に関するお問い合わせは、太陽電池の販売店または施工会社にお問い合わせください。
- 本製品と燃料電池との接続については、推奨エネファームとの連携動作が可能です。機種についてはお買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにお問い合わせください。

各部の名称

蓄電池ユニット



パワーコンディショナ



禁止 蓄電システム本体の放熱穴をふさがない

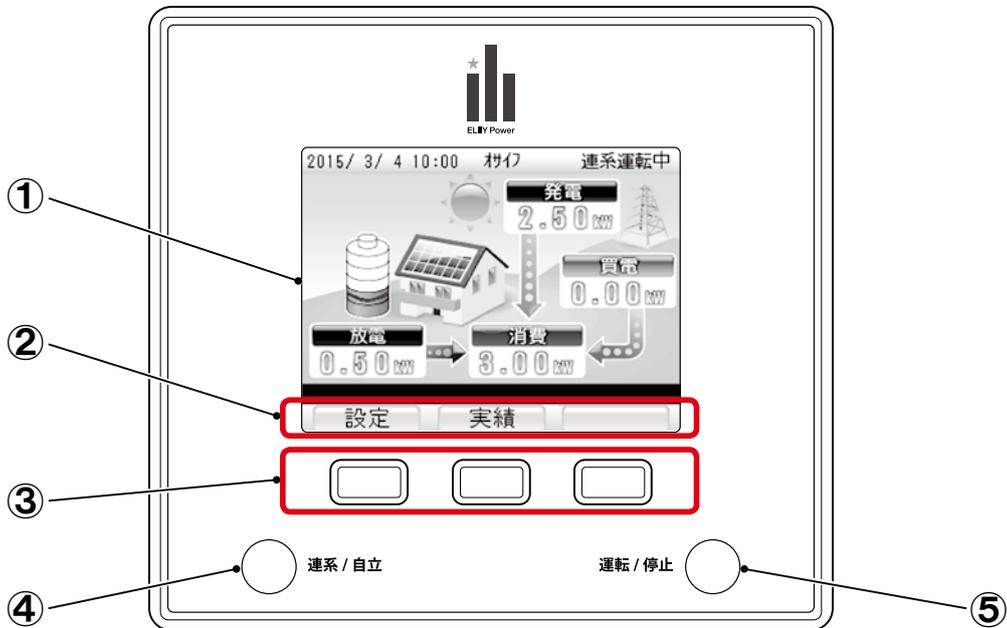
蓄電システム本体の周囲に放熱の障害となる物を置いたり、パワーコンディショナの放熱穴をふさいだりしないでください。放熱を妨げると、蓄電システム本体内部の温度が上昇し、本製品の誤動作・故障、火災の原因になります。

禁止 パワーコンディショナや蓄電池ユニットのパネルやカバーを開けたり、接続されているケーブルや配管を外したりしないでください。感電やけが、および製品が破損するおそれがあります。

リモコン

お
使
い
の
前
に

リモコンは、運転状況をお知らせする表示ディスプレイと本製品のコントローラーを兼ねています。蓄電量の確認や充電・放電時間の設定などは、このリモコンで行います。



①表示ディスプレイ

点灯させる場合は、[操作]ボタン、[連系/自立]ボタン、または[運転/停止]ボタンのいずれかを押します。

②ボタン表示エリア

表示エリア下の操作ボタンで実行できる機能が表示されます。
(画面によって表示(機能)が変わります)

③操作ボタン

ボタンを押すと、ボタン表示エリアに表示されている機能を実行します。
(表示ディスプレイが消えているときにいずれかのボタンを押すとトップ画面が表示されます)

④連系/自立ボタン

パワーコンディショナの運転状態(連系運転/自立運転)をランプの点灯・点滅により確認します。表示ディスプレイの消灯中も確認できます。

表示	状態
緑点灯	連系運転中
赤点灯	自立運転中
赤点滅	自動停止中
消灯	自立手動停止中、連系手動停止中、連系準備中、自立準備中

⑤運転/停止ボタン

本製品の運転/停止を操作します。また連系運転中はランプの色により買電/売電状態を確認できます。停電時に、太陽電池または蓄電池が利用できない(残量ゼロ/接続なし/異常時)場合は操作が無効になります。

表示	状態
緑点灯	売電
赤点灯	買電
消灯	自立手動停止中、連系手動停止中

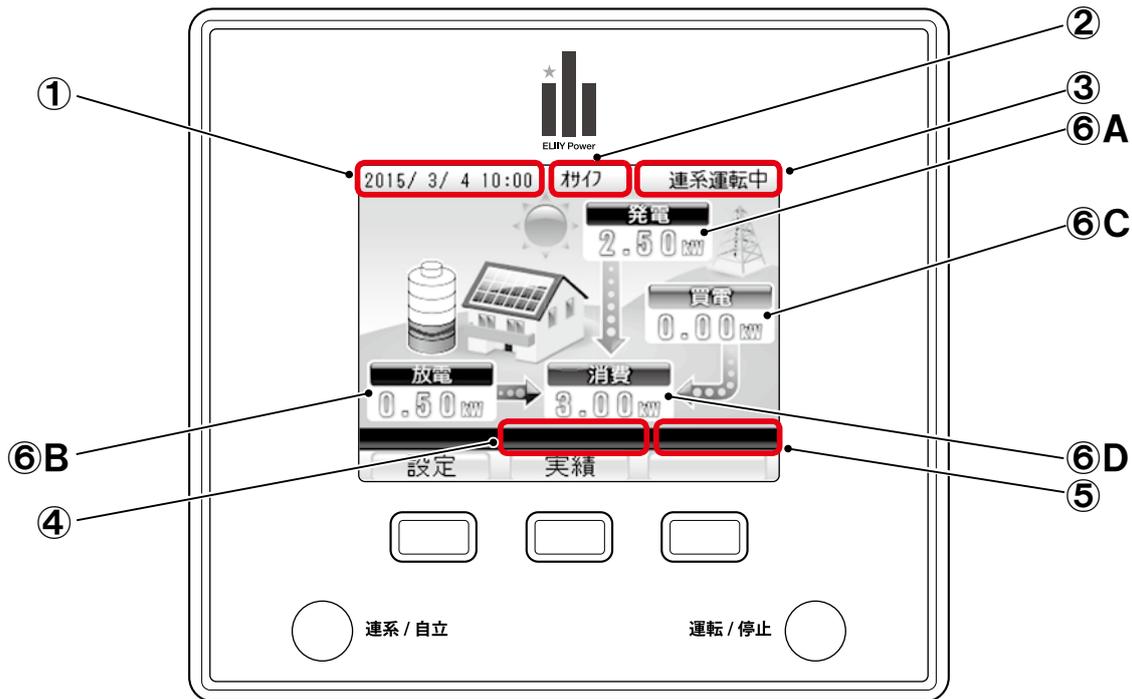
表示ディスプレイの見方

トップ画面の見方

トップ画面は、運転時に表示される基本画面です。

現在の運転状態、太陽電池の発電電力、蓄電池からの充電・放電電力、電力会社からの買電・売電電力を確認できます。

※表示ディスプレイに表示される蓄電池残量や放電可能時間は目安です。



① 現在日時

現在の年月日時刻を表示します。19時から5時の間は、画面の背景が変わります。

② 運転モード

連系運転時の運転モード(おサイフモード、eco モード、バックアップモード)の中で現在の運転モードを表示します。

③ 運転状態

パワーコンディショナの運転状態を表示します。

④ 抑制状態の表示

- ・パワーコンディショナの出力抑制状態(電圧抑制、温度抑制、温度・電圧抑制)のメッセージを表示します。正常動作時は、表示されません。
- ・その他メッセージ(「FW更新あり」など)を表示します。

⑤ エラーコード

エラー発生時にエラーコードが表示されます。
正常動作時は、表示されません。

⑥電力

電力を表示します。表示内容は、以下となります。

部位	表示	内容
A		現在、太陽電池で発電している電力を表示しています。
B		<p>現在、蓄電池が充電している電力または、放電している電力を表示しています。</p> <p>充電しているときは「充電」、放電しているときは「放電」、充放電を停止しているときは「待機」の表示になります。また、蓄電池が故障し、停止している場合には「故障」の表示になります。</p>
C		<p>電力会社に売っている電力、または電力会社から買っている電力を表示しています。</p> <p>電力を売っているときは「売電」、電力を買っているときは「買電」の表示になります。</p>
D		現在、ご家庭で消費している電力を表示しています。

※1 連携している他の機器のディスプレイの表示と発電量などの数値が違う場合があります。

※2 エネファーム等その他の発電設備を併設している場合は、各電力値が正しく表示されない場合があります。

連系運転時の表示



①蓄電池残量表示

②使い切りレベル表示

停電時に使用する電力確保のため、設定されたレベルまで蓄電池残量が低下すると放電を停止します。

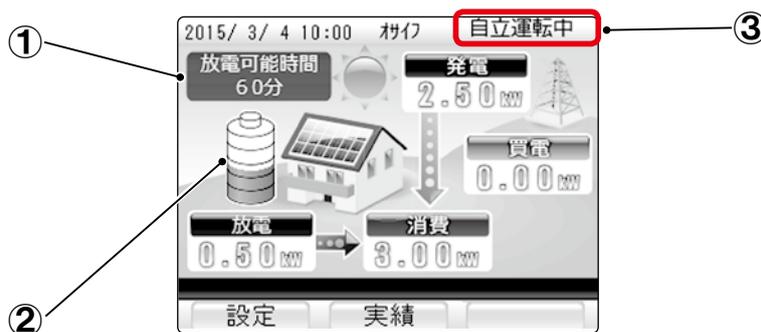
蓄電池残量のレベルを0～5までの6段階で設定できます。

※蓄電池が満充電のときを10とした場合の目安です。

③運転状態

表示	状態
連系運転中	連系運転中に表示されます。
自動停止中	パワーコンディショナに電源が投入されていないときに表示されます。
連系準備中	運転開始または停止を準備しているときに表示されます。
連系手動停止中	連系運転を停止したときに表示されます。

自立運転時の表示



①放電可能時間表示

・30分単位で表示します。放電可能時間は目安です。

表示	状態
30分未満	放電可能時間は30分未満です。
一分	放電していません。

②蓄電池残量表示

③運転状態

表示	状態
自立運転中	自立運転中に表示されます。
自立準備中	自立運転の開始または停止を準備しているときに表示されます。
自立手動停止中	自立運転を停止したときに表示されます。

はじめてお使いになるときは

ここでは、本製品の使用開始時の操作手順について説明します。

以下の手順にしたがって、使用開始の操作を行ってください。

初期設定では、発電開始日は設定されている場合があります。(設置工事の際に設定されている場合があります。)なお、一度運転を開始させると、運転モードに従い、日射量・時刻・蓄電池残量などに応じて自動的に運転しますので、毎日の運転操作は不要です。

1 蓄電池ユニットのDCスイッチがオンになっているか確認してください。(P.54 参照)

2 住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーをオンにします。

ご確認ください

住宅分電盤、住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーの位置、操作方法は、製品のご使用前にお買い上げの販売店または設置工事を行った電気工事業者にご確認ください。

3 リモコンで、連系手動停止状態であることを確認します。

◆ メモ.....

- 「自立手動停止中」の場合は、「連系/自立」ボタンを5秒以上長押しして「連系手動停止中」にしてください。



4 現在の日時を設定します。

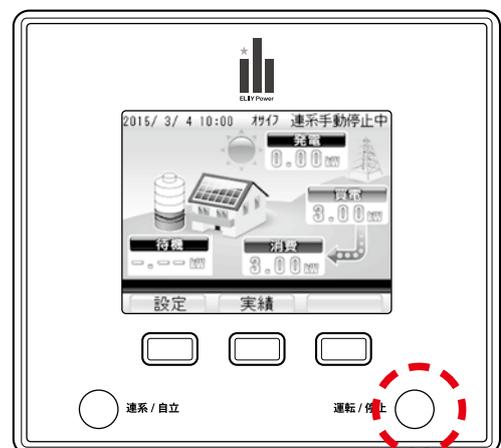
日時の設定方法については「日時の設定」(P.28)を参照してください。

5 運転モードを設定します。

運転モードの設定方法については「運転モード切替え」(P.33)を参照してください。

6 [運転 / 停止] ボタンを押します。

7 [運転 / 停止] ボタンが点灯していることを確認します。



◆ メモ.....

- 停電から復電後に連系運転を開始すると、「連系準備中」が数分間表示されます。

連系運転(通常時)・自立運転(停電時)

運転動作の紹介

本製品には、2つの運転動作があります。

名称	説明
連系運転	通常時(停電時以外)の運転動作
自立運転	停電時の運転動作 EPS-20H-200の自立切替ユニット(市販品)を設置していない場合、もしくはEPS-20H-100で自立運転を手動設定にしている場合を除き、停電時に自動で自立運転に切り替わり、蓄電池から電力を供給します。復電時も自動で連系運転に切り替わります。

連系運転時の動作

連系運転では、蓄電池と太陽電池を併用します。ダブル発電[※]を防止しながら昼間に太陽電池で発電した電力を有効活用することができます。

連系運転の運転モードには、「おサイフモード」「ecoモード」「バックアップモード」があり、発電した電力の活用方法に応じて選択することができます。

運転モードの選択方法については、「運転モード切替え」(P.33)を参照してください。

※ダブル発電とは、太陽電池と他の発電設備(蓄電池など)を組み合わせることで、太陽電池の売電を押し上げる効果のことです。ダブル発電による押し上げ効果がある場合、売電価格が引き下げられます。売電価格は変更される場合があります。燃料電池と併設している場合は、ダブル発電になります。



メモ

- 本製品で系統連系を行うためには、お客様ご自身による電力会社との契約が必要となります。
- 連系運転(通常時)は、太陽電池と蓄電池からの放電は家全体に最大5.50kWまでの電力供給を行います。それ以上の電力供給が必要な場合は電力会社からの電力供給となります。

運転モードの解説

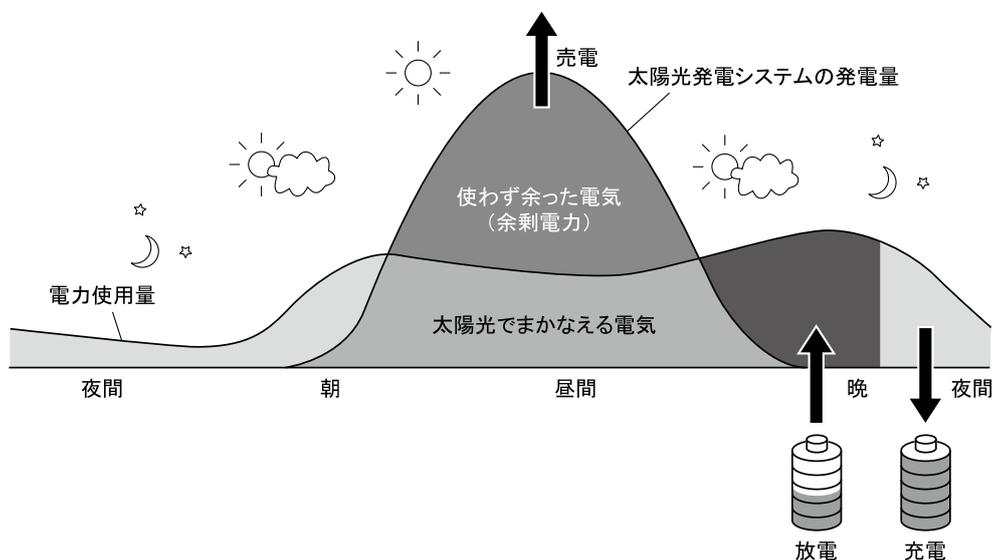


メモ.....

- 設定した充電時間帯以外でも電池の性能を維持するため、充電することがあります。
- 蓄電池ユニットの放電可能時間でも、電力使用量が0.20kW程度までは電力会社から購入します。また、待機電力も必要です。

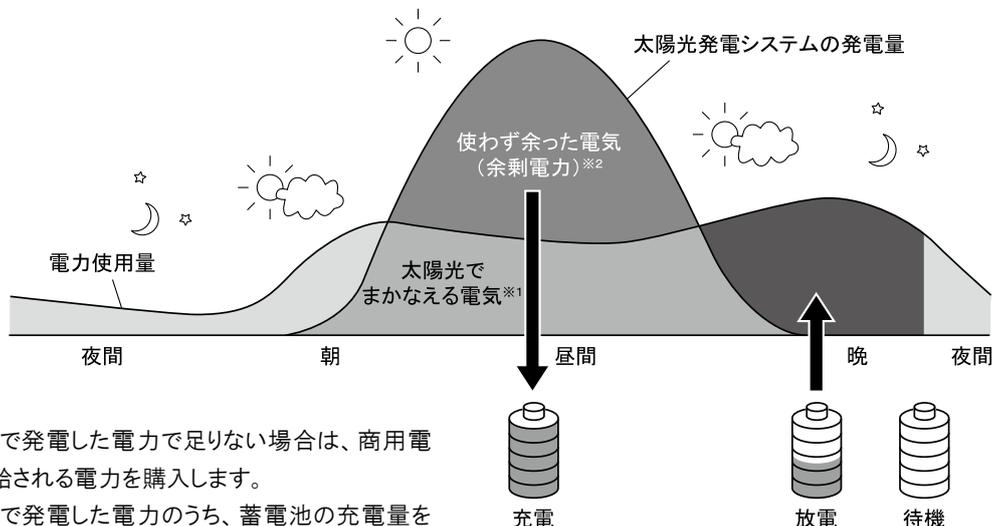
おサイフモード

- 太陽電池で発電した電力で、消費しなかった電力(余剰電力)の売電を優先します。
- 売電時は蓄電池からの放電を停止し、ダブル発電を防止します。
- 深夜電力を充電し、太陽光による売電がない場合の電力として使用することができます。



ecoモード

- ecoモードは、原則として商用電源からは充電しません。
- 太陽電池で発電した電力で、消費しなかった電力(余剰電力)の充電を優先します。
- 充電した電力は、太陽光による発電がない場合に使用することができます。



※1 太陽電池で発電した電力で足りない場合は、商用電源から供給される電力を購入します。
 ※2 太陽電池で発電した電力のうち、蓄電池の充電量を越えた電力は売電します。

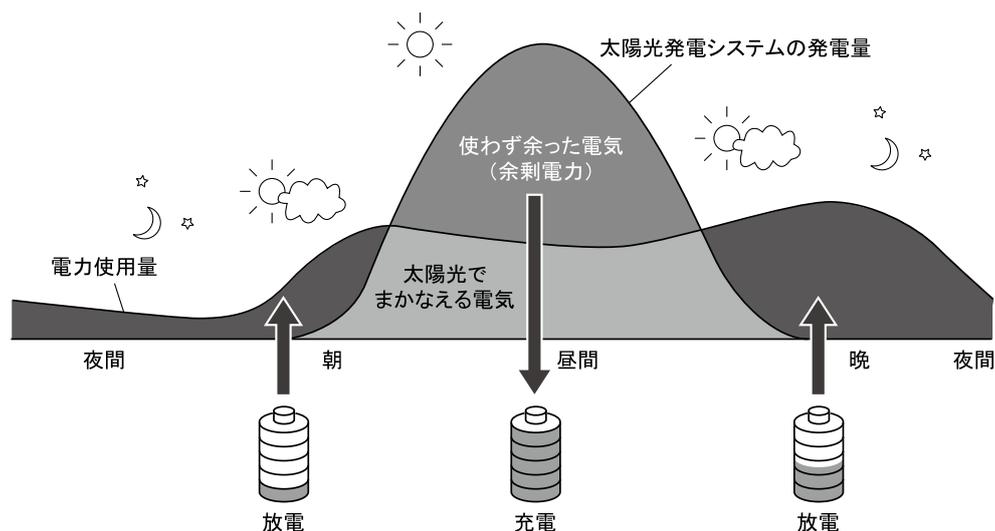
バックアップモード

時刻や日射量に関係なく、満充電になるまで充電します。

※発電分で足りない場合は電力を購入します。充電量を超えた発電電力は売電します。

自立運転時の動作

停電になった場合、本製品が自動で自立運転への切替えを行います。
 自立運転では、「昼間(朝～夕方)」は太陽電池と蓄電池が連動し、生活に必要な電力を供給します。停電から復帰した場合は、自動的に連系運転に切替わります。また、余剰電力は蓄電池に充電します。「夜間」「深夜～早朝」は蓄電池の電力を供給します。



使用方法

●お使いの製品によって、自立運転時の動作が異なります。

型式	自動切替ユニット	自立出力	参照
EPS-20H-100	あり ^{※1}	自動	-
		手動	P.25
EPS-20H-200	あり ^{※2}	自動	-
		手動	P.25
	なし	手動	P.26

※1 自動切替ユニットは本製品に内蔵されています。

※2 停電時に自動で蓄電システム用コンセントから電力が供給されるようにするためには、自動切替ユニット(市販品)が必要です。



- 自立運転時は、蓄電システム用コンセントのみに電力が供給されます。一般用コンセントへ接続されている機器は使用できません。
- 本製品は停電時に約5秒間出力が停止します。復電後は出力を開始するまでに約5秒間かかります。
- 停電時動作設定が手動の場合、自動では本製品から出力しません。
- 充電中は蓄電池ユニットからの放電は行いません。
- 自立運転で使用できる電力は最大で2.00kWまでです。太陽光発電システムで発電した電力を使用するため、天候により出力が不安定になることがあります。消費電力が使用できる電力を上回った場合、自動的に自立運転を停止します。ご使用中の電気製品を一部停止し、消費電力を小さくすると、自動的に運転を再開します。



自立運転時は、本製品を以下のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないでください。

- ・すべての医療機器、防犯機器との接続
- ・デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器との接続
- ・灯油やガスを用いた暖房機器との接続
- ・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器との接続



メモ・・

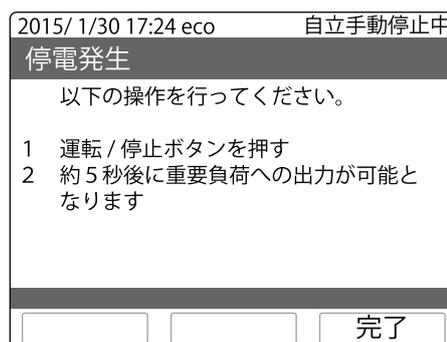
- 自立運転時の発電および放電電力は、天候やリチウムイオン電池の状態、接続した電気機器の消費電力により変動します。

EPS-20H-100/200(自動切替ユニットあり)の場合

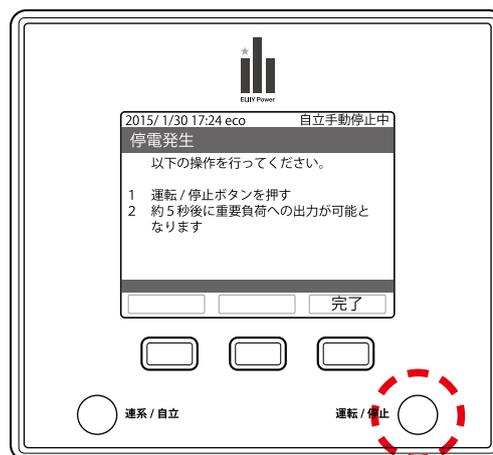
停電時に手で自立運転を行う場合は、以下の操作を行います。

停電時(自立運転を始める)

- 1 停電時に表示ディスプレイに表示されるメッセージを確認します。



- 2 [運転/停止] ボタンを押します。
[連系/自立] ボタンが赤点灯します。



- 3 [完了] ボタンを押します。
自立運転が開始されます。

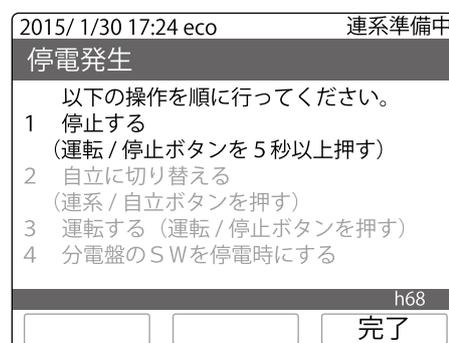
復電時(連系運転へ戻す)

停電から復帰すると、自動で連系運転に戻ります。

EPS-20H-200(自動切替ユニットなし)の場合

停電時(自立運転を始める)

1 停電時にリモコンの表示ディスプレイに表示されるメッセージを確認します。



2 [運転/停止] ボタンを長押しします。
表示画面が連系手動停止中になります。



使用方法

3 [連系/自立] ボタンを押します。
表示画面が自立手動停止中になります。

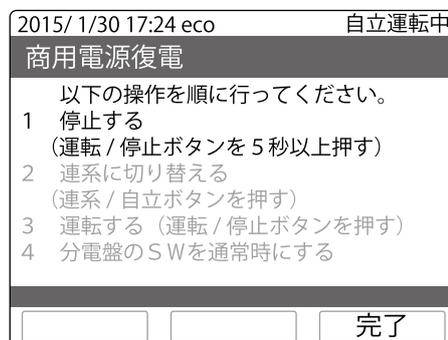
4 [運転/停止] ボタンを押します。
表示画面が自立運転中になります。

5 住宅分電盤のスイッチを「停電時」に切り替えます。

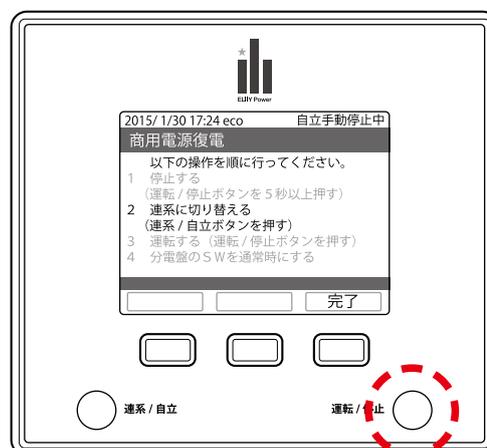
6 [完了] ボタンを押します。
自立運転が開始されます。

復電時(連系運転へ戻す)

- 1** 停電から復帰したときに表示ディスプレイに表示されるメッセージを確認します。



- 2** [運転/停止] ボタンを長押しします。
表示画面が自立手動停止中になります。



- 3** [連系/自立] ボタンを押します。
表示画面が連系手動停止中になります。

- 4** [運転/停止] ボタンを押します。

- 5** 住宅分電盤のスイッチを「通常時」に切り替えます。

- 6** [完了] ボタンを押します。
連系運転が開始されます。

各種設定

日時の設定

日時を設定する場合は、以下の操作を行います。

1 トップ画面で【設定】ボタンを押します。
「設定」メニュー画面が表示されます。

2 [↓] ボタンで「日時」を選択し、【決定】ボタンを押します。
「日時設定」画面が表示されます。

3 変更する数字を選択し【値変更】ボタンを押して修正します。
[→] ボタンで次の桁または項目に移動します。



4 日時を入力したら [→] ボタンで「日時決定」を選択し、【決定】ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



5 画面の内容を確認して【決定】ボタンを押します。
日時が設定され、「設定」メニュー画面に戻ります。
[戻る] ボタンを押すと、日時を設定せず、「日時設定」メニュー画面に戻ります。

◆ メモ

- 蓄電池ユニットがインターネットに接続されている場合、日付、時刻が自動的に修正されます。

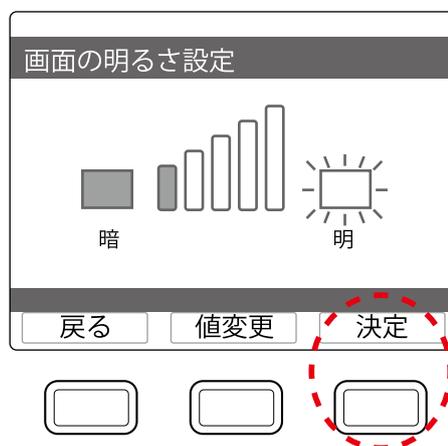
画面の明るさの設定

画面の明るさ・点灯時間を設定する場合は、以下の操作を行います。

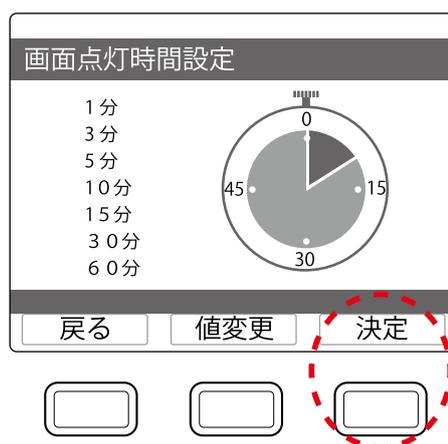
1 トップ画面で**〔設定〕** ボタンを押します。
「設定」メニュー画面が表示されます。

2 **〔↓〕** ボタンで「画面の明るさ」を選択し、**〔決定〕** ボタンを押します。
「画面の明るさ設定」画面が表示されます。

3 **〔値変更〕** ボタンで画面の明るさを選択し、**〔決定〕** ボタンを押します。
「画面点灯時間設定」画面が表示されます。



4 **〔値変更〕** ボタンで点灯時間を選択し、**〔決定〕** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



5 画面の内容を確認して**〔決定〕** ボタンを押します。
画面の明るさや点灯時間が反映され、「設定」メニュー画面に戻ります。
〔戻る〕ボタンを押すと、「画面の明るさ設定」画面に戻ります。

発電開始日の設定

発電開始日を設定する場合は、以下の操作を行います。（本製品の設置工事の際に、発電開始日が設定されている場合があります。）

1 トップ画面で【設定】ボタンを押します。

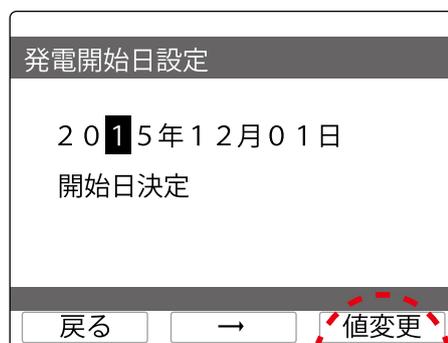
「設定」メニュー画面が表示されます。

2 【↓】ボタンで「発電開始日」を選択し、【決定】ボタンを押します。

「発電開始日設定」画面が表示されます。

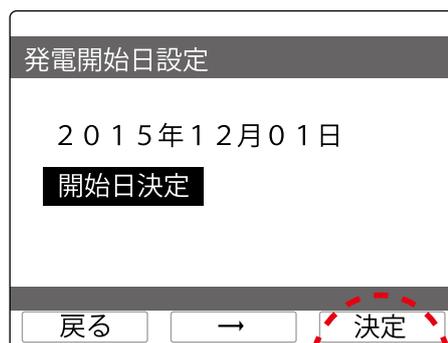
3 変更する数字を選択し、【値変更】ボタンを押して修正します。

【→】ボタンで次の桁または項目に移動します。



4 発電開始日を入力したら【→】ボタンで「開始日決定」を選択し、【決定】ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



5 画面の内容を確認して【決定】ボタンを押します。

発電開始日が設定され、「設定」メニュー画面に戻ります。

【戻る】ボタンを押すと、「発電開始日設定」画面に戻ります。

省エネアシスト目標の設定

省エネアシストは、1ヶ月の目標電力消費量に対して実際の消費量が、どれだけ節約できたかを確認できる機能です。

省エネアシスト目標を設定する場合は、以下の操作を行います。

1 トップ画面で**〔設定〕** ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

2 **〔↓〕** ボタンで**「省エネアシスト」** を選択し、**〔決定〕** ボタンを押します。

「省エネアシスト目標設定」画面が表示されます。

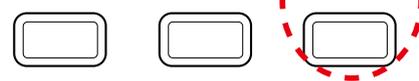
3 **〔→〕** ボタンで**変更する数字** を選択し、**〔値変更〕** ボタンを押して修正します。

〔戻る〕ボタンを押すと、省エネアシスト目標を設定せず、「設定」メニュー画面に戻ります。

省エネアシスト目標設定

前月消費量	9999kWh
目標消費量	9999kWh
目標値決定	

戻る → 値変更



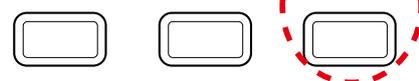
4 **「目標値決定」** を選択し、**〔決定〕** ボタンを押します。

目標値が設定され、「設定」メニュー画面に戻ります。

省エネアシスト目標設定

前月消費量	9999kWh
目標消費量	9999kWh
目標値決定	

戻る → 決定



電気代換算の設定

電気代換算設定では、発電量・消費量を電気代に換算して、確認することができます。
換算用の電気代(買電料金は4つの時間帯で設定できる、売電料金は1つのみ)を設定する場合は、以下の操作を行います。

◆ メモ

- 設定を変更すると、当月1日から 現在までの電気代換算データを再計算します。

1 トップ画面で【設定】ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

2 [↓] ボタンで「電気代換算」を選択し、【決定】ボタンを押します。

「電気代換算値設定」画面が表示されます。

3 【値変更】ボタンで数値を変更し、【次項目】ボタンを押します。

各項目の数値を確定し、次の桁または、項目に移動します。

[戻る]ボタンを押すと、変更された内容を反映せず「設定」メニュー画面に戻ります。

電気代換算値設定	
基本料金	0000 円
買電 (00 時 -00 時)	00.0 円 /kWh
買電 (00 時 -00 時)	00.0 円 /kWh
買電 (00 時 -00 時)	00.0 円 /kWh
買電 (00 時 -00 時)	00.0 円 /kWh
売電	00.0 円 /kWh
換算値決定	

戻る 次項目 値変更

4 「換算値決定」を選択して、【決定】ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

5 画面の内容を確認して【決定】ボタンを押します。

換算用の電気代が反映され、「設定」メニュー画面に戻ります。[戻る]ボタンを押すと、「電気代換算値設定」画面に戻ります。

電気代換算値設定	
基本料金	0000 円
買電 (00 時 -00 時)	00.0 円 /kWh
買電 (00 時 -00 時)	00.0 円 /kWh
買電 (00 時 -00 時)	00.0 円 /kWh
買電 (00 時 -00 時)	00.0 円 /kWh
売電	00.0 円 /kWh
換算値決定	

戻る 次項目 決定

運転モード切替え

運転モードには「おサイフモード」「ecoモード」「バックアップモード」があり、用途に応じて選択できます。運転モードを切替える場合は、以下の操作を行います。

1 トップ画面で [設定] ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

2 [↓] ボタンで「運転モード切替え」を選択し、[決定] ボタンを押します。

「運転モード設定」画面が表示されます。

[戻る]ボタンを押すと、トップ画面に戻ります。

3 運転モードを選択し、[変更] ボタンを押します。

充電時間や使い切りレベルなどの設定が可能な運転モードの場合は、[↓]ボタンで各項目にカーソルが移動します。

運転モードによっては設定できない項目もあります。

運転モード設定		
運転モード:	おサイフモード	
充電開始時間	23 時	
充電終了時間	7 時	
放電開始時間	10 時	
放電終了時間	23 時	
使い切りレベル	3	
表示値確定		
戻る	↓	変更

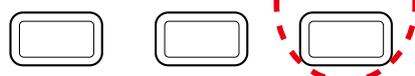


4 [↓] ボタンで変更したい項目を選択し、[変更] ボタンを押します。

選択した項目の値が設定されます。

- ・充電開始時間:0~23 時(初期値:23)
- ・充電終了時間:0~23 時(初期値:7)
- ・放電開始時間:0~23 時(初期値:10)
- ・放電終了時間:0~23 時(初期値:23)
- ・使い切りレベル:0、1、2、3、4、5 段階(初期値:3)

運転モード設定		
運転モード:	おサイフモード	
充電開始時間	23 時	
充電終了時間	7 時	
放電開始時間	10 時	
放電終了時間	23 時	
使い切りレベル	3	
表示値確定		
戻る	↓	変更



5 [↓] ボタンで「表示値確定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

6 画面の内容を確認して [決定] ボタンを押します。

運転モードが設定され、「運転モード選択」画面に戻ります。

◆ メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 「おサイフモード」「ecoモード」「バックアップモード」の詳細は、「運転モードの解説」(P.21)を参照してください。

ソフトウェア更新方法の設定

ソフトウェアの更新方法を設定する場合は、以下の操作を行います。

1 トップ画面で **【設定】** ボタンを押します。
「設定」メニュー画面が表示されます。

2 **【↓】** ボタンで **「FW 更新」** を選択し、**【決定】** ボタンを押します。
「FW更新」画面が表示されます。
【戻る】ボタンを押すと、トップ画面に戻ります。

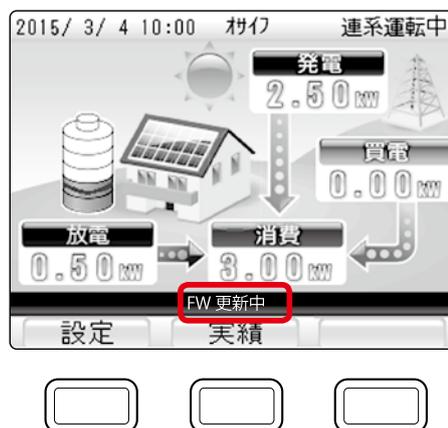
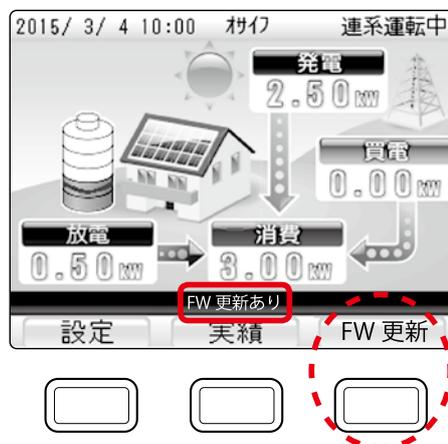
3 **【変更】** ボタンを押します。
「自動」「手動」が切替わります。

4 画面の内容を確認して **【決定】** ボタンを押します。
ソフトウェア更新方法が設定され、「設定」メニュー画面に戻ります。



ソフトウェア更新方法を手動に設定した場合の更新方法

- 1 本製品がソフトウェア更新情報を受信するとトップ画面に「FW 更新あり」と表示されます。
- 2 トップ画面で [FW 更新] ボタンを押します。
- 3 トップ画面の表示が「FW 更新中」に変わります。
- 4 ソフトウェア更新が終了すると「FW 更新中」が消えます。



注意

- ソフトウェアのアップデート中は充放電は停止します。
- ソフトウェアのアップデートには数分間かかります。
- ソフトウェア更新方法が自動的に設定されている場合は、自動的にアップデートを開始します。

自立出力の切替え方法

停電時の動作(自立出力)を設定する場合は、以下の操作を行います。

1 トップ画面で【設定】ボタンを押します。

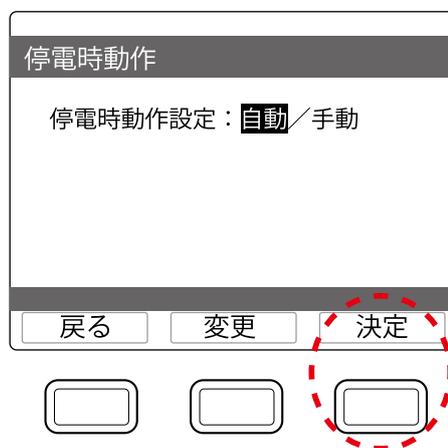
「設定」メニュー画面が表示されます。

2 【↓】ボタンで「停電時動作」を選択し、【決定】ボタンを押します。

「停電時動作」画面が表示されます。

3 【変更】ボタンで「自動」または「手動」を選択し、【決定】ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



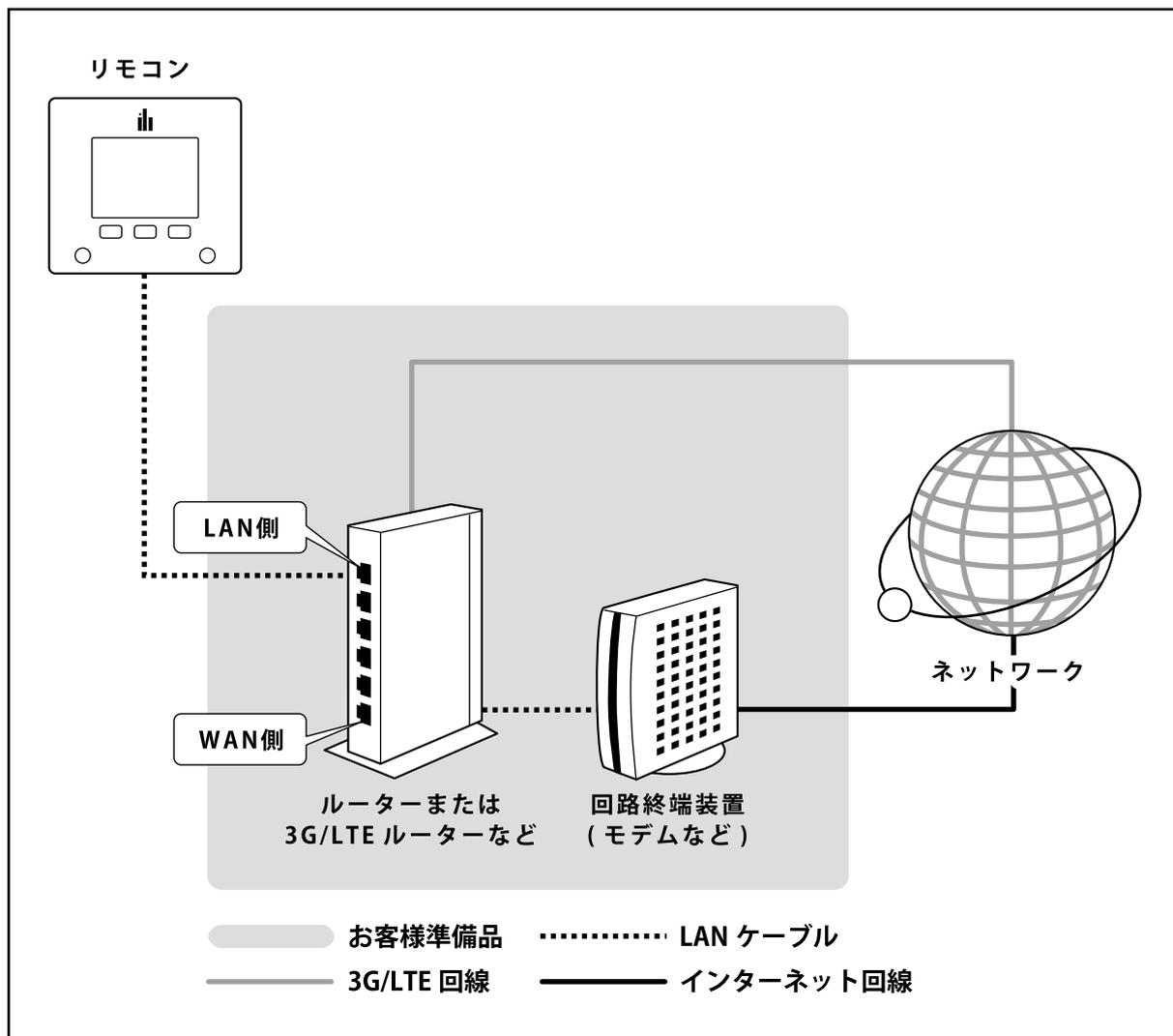
4 画面の内容を確認して【決定】ボタンを押します。

停電時の動作が設定され、「設定」メニュー画面に戻ります。

ネットワークの接続および設定

器具の接続

本製品をご家庭で使用するにあたってのインターネット配線と器具接続の構成例を以下に示します。



使用方法

◆ メモ.....

- フレッツ光TVなど大量のデータをマルチキャスト通信にて行う機器を導入する場合、別途ルーターの設置などが必要になります。

ネットワークの設定

本製品のネットワーク設定を行う場合は、以下の操作を行います。

1 トップ画面で **[設定]** ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

2 **[↓]** ボタンで「ネットワーク設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

「ネットワーク」メニュー画面が表示されます。

[戻る] ボタンを押すと、トップ画面に戻ります。

3 **[↓]** ボタンで「ネットワーク設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

「現在の設定」画面が表示されます。

[戻る] ボタンを押すと、「設定」メニュー画面に戻ります。

4 **[進む]** ボタンを押します。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

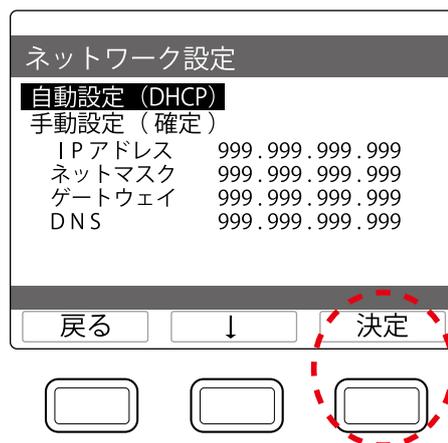
[戻る] ボタンを押すと、「設定」メニュー画面に戻ります。

5 設定を行う

5-A 自動設定を行う

[↓] ボタンで「自動設定(DHCP)」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

“しばらくお待ちください”の表示が出た後、IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNSの各アドレスを取得すると、「現在の設定」画面に戻ります。



5-B 手動設定を行う

[↓]ボタンで各項目を選択し、[決定]ボタンを押します。

各項目の設定画面が表示されます。



[→]で数値、項目を選択し、[値変更]ボタンで変更後、「設定値決定」を選択します。

[値変更]ボタンが[決定]ボタンに変わってから、[決定]ボタンを押して設定を終了し、「ネットワーク設定」画面に戻ります。



6 通信テストを行う場合は、「ネットワーク」メニュー画面で「通信テスト」を選択し、[決定]ボタンを押します。

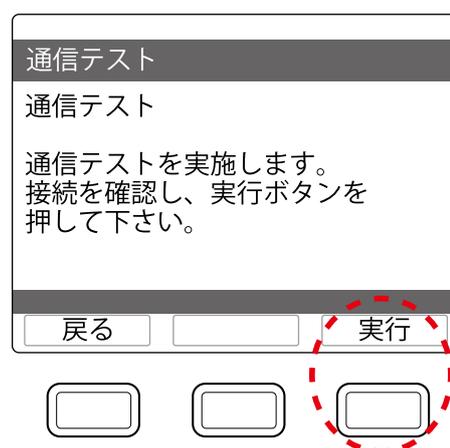
「通信テスト」画面が表示されます。

7 [実行]ボタンを押すと、通信テストが開始されます。

終了すると、結果表示画面に移動します。

失敗の場合は、[実行]ボタンを押すと、再度通信テストが実行されます。

[戻る]ボタンを押すと、「設定」メニュー画面に戻ります。



通信テストに失敗する場合

通信テストに失敗する場合は、以下の操作を行います。

1

ご家庭内のネットワークに接続されているルーターを確認してください。

電源が入っているか、警告ランプが点灯しているかなど、異常な状態でないかを確認してください。

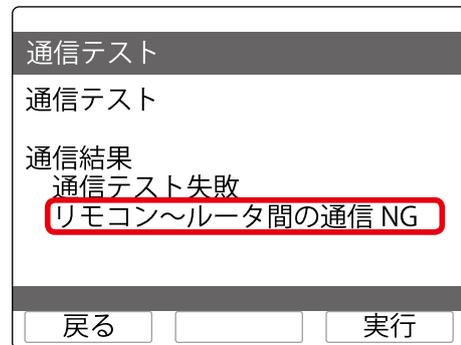
※リモコンは、ルーターに接続しないとインターネット通信を行う事が出来ません。ルーターがない場合は、プロバイダーにご相談の上、ルーターの購入をご検討ください。

※ルーターに異常がある場合は、ルーターの取扱説明書をご確認いただき、メーカーやプロバイダーにご相談ください。

2

情報機器(タブレット/スマートフォン/PCなど)を使い、インターネットやメールが出来ていることを確認してください。

リモコンが接続されているルーターと同一のルーターにパソコンを接続し、インターネットやメールが出来ているのに、通信テストに失敗する場合は、以下の確認を行ってください。



表示	原因・処置
「リモコン本体の通信準備NG」	LANケーブルの接続確認をしてください。
「リモコン～ルータ間の通信NG」	時間をおいてから再度通信テストをしてください。ルーターの機種、もしくは設定により通信できない場合があります。ルーターのメーカーに確認をしてください。
「ルーター～データセンター間の通信NG」	時間をおいてから再度通信テストをしてください。ご契約のプロバイダーの制限により、通信できない場合があります。制限や設定をご契約のプロバイダーにご相談ください。

上記を確認しても通信テストに失敗する場合

ご契約のプロバイダーまたはご使用のルーターによる通信制限が設定されている可能性があります。インターネットの制限や設定、ご契約の内容に関してはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。ルーターの設定はルーターの取扱説明書をご確認ください。

実績の確認

発電量／消費量や売電量／買電量などの実績を確認する場合は、以下の操作を行います。

1 トップ画面で【実績】ボタンを押します。

2 [↓] ボタンで確認したい項目を選択し、【決定】ボタンを押します。



確認できる項目

表示	内容	参照
発電量／消費量	発電量／消費量を当日、1時間単位、1日単位、1ヶ月単位で確認できます。数値、またはグラフでの表示が可能です。	P.43
売電量／買電量	売電量／買電量を当日、1時間単位、1日単位、1ヶ月単位で確認できます。数値、またはグラフでの表示が可能です。	P.45
電圧上昇抑制履歴	電圧上昇抑制履歴を順次表示します。履歴の数は最大30件です。30件を超えると古い履歴から削除されます。	P.52
電気代換算	消費量、売電量、買電量を電気代に換算して確認できます。数値、またはグラフでの表示が可能です。換算用の電気代の設定は、設定メニューで行います。(初期状態では換算用の電気代は、設定されていません。)	P.47
環境貢献	発電量をもとに換算した、CO ₂ (二酸化炭素)削減量の年単位の実績を確認できます。同時に、CO ₂ 削減量を樹木の本数や石油消費の節約量に換算した値も確認できます。	P.49
省エネアシスト	1ヶ月の省エネ目標消費量に対してどれだけ達成できたかを確認できます。消費電力の目標値(折れ線グラフ)と実績(棒グラフ)を表示します。	P.50
発電開始日から	発電開始日からの発電量、消費量、売電量、買電量、自給率の積算が確認できます。	P.51

※各項目にて表示される数値は目安です。

発電量／消費量の実績を確認する

発電量／消費量を当日(画面表示では今日)、1時間単位、1日単位、1ヶ月単位で確認できます。数値、またはグラフでの表示が可能です。

1 トップ画面で【実績】ボタンを押します。

2 【↓】ボタンで【発電量／消費量】を選択し、【決定】ボタンを押します。



3 【↓】ボタンで確認したい時間単位を選択し、【決定】ボタンを押します。

表示	内容
今日	過去35日分
1時間単位	過去35日分 (36日以前のデータは「1日単位」のデータに書き替えられます)
1日単位	過去13ヶ月分 (14ヶ月以前のデータは「1ヶ月単位」のデータに書き替えられます)
1ヶ月単位	過去10年分 (11年以前のデータは消去されます)



4 実績を確認します。

<画面例>「今日」の実績です。

「1時間単位」「1日単位」「1ヶ月単位」の場合でも、操作は共通です。

グラフ表示

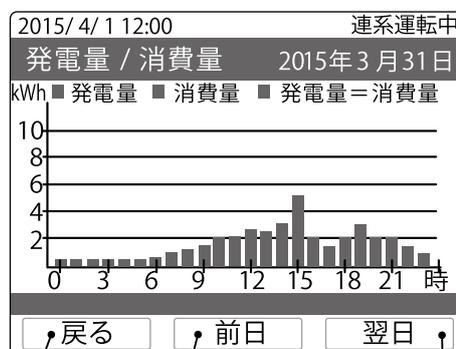
《電力グラフ》

発電量／消費量ともに棒グラフで表示します。
発電量と消費量のグラフを同時に表示するため、量の少ない方を手前、多い方を奥に表示しています。

青：発電量、赤：消費量、
紫：発電量＝消費量

- ①表示したい時間単位の選択画面に戻ります。
- ②前の期間(前日)の実績に表示を切り替えます。

1時間単位の実績＝「前日」
1日単位の実績＝「前月」
1ヶ月単位の実績＝「前年」
と表示が切り替わります。



- ③次の期間(翌日)の実績に表示を切り替えます。

1時間単位の実績＝「翌日」
1日単位の実績＝「翌月」
1ヶ月単位の実績＝「翌年」
と表示が切り替わります。

数値表示

《発電量》

期間あたりの発電量です。

《消費量》

期間あたりの電力消費量です。

《自給率》

期間あたりの自給率です。

- ①表示したい時間単位の選択画面に戻ります。
- ②前の期間の実績に表示を切り替えます。
- ③次の期間の実績に表示を切り替えます。

2015/4/1 12:00		連系運転中	
発電量 / 消費量		2015年3月1日	
	発電量 (kWh)	消費量 (kWh)	自給率 (%)
1 2時	3.4	2.2	154
1 3時	4.6	1.3	353
1 4時	5.2	1.0	520
1 5時	5.0	0.8	625
日間	29.1	14.2	204

- ①
- ②
- ③

売電量／買電量の実績を確認する

売電量／買電量を当日(画面表示では今日)、1時間単位、1日単位、1ヶ月単位で確認できます。数値、またはグラフでの表示が可能です。

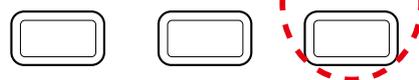
1 トップ画面で【実績】ボタンを押します。

2 【↓】ボタンで【売電量／買電量】を選択し、【決定】ボタンを押します。

3 【↓】ボタンで確認したい時間単位の項目を選択し、【決定】ボタンを押します。

実績	
発電量 / 消費量	環境貢献
売電量 / 買電量	省エネアシスト
電圧上昇抑制履歴	発電開始日から
電気代換算	

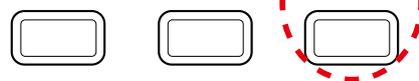
戻る ↓ **決定**



2015/4/1 12:00 連系運転中

発電量 / 消費量	
グラフ	数値
今日	今日
1時間単位	1時間単位
1日単位	1日単位
1ヶ月単位	1ヶ月単位

戻る ↓ **決定**



4 実績を確認します。

＜画面例＞「今日」の実績です。

「1時間単位」「1日単位」「1ヶ月単位」の場合でも、操作は共通です。

グラフ表示

《電力グラフ》

売電量／買電量ともに棒グラフで表示します。

売電量と買電量のグラフを同時に表示するため、量の少ない方を手前、多い方を奥に表示しています。

緑：売電量、黄：買電量、
オレンジ：売電量＝買電量

①表示したい時間単位の選択画面に戻ります。

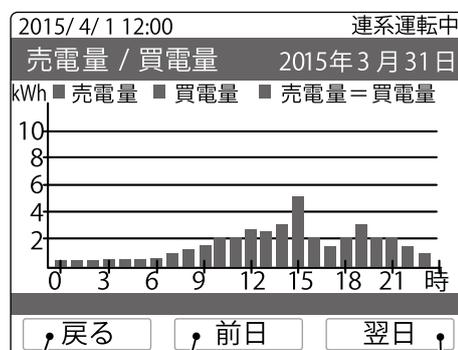
②前の期間(前日)の実績に表示を切り替えます。

1時間単位の実績＝「前日」

1日単位の実績＝「前月」

1ヶ月単位の実績＝「前年」

と表示が切り替わります。



①

②

③

③次の期間(翌日)の実績に表示を切り替えます。

1時間単位の実績＝「翌日」

1日単位の実績＝「翌月」

1ヶ月単位の実績＝「翌年」

と表示が切り替わります。

数値表示

《売電量》

期間あたりの売電量です。

《買電量》

期間あたりの買電量です。

①表示したい時間単位の選択画面に戻ります。

②前の期間の実績に表示を切り替えます。

③次の期間の実績に表示を切り替えます。

2015/4/1 12:00		連系運転中	
売電量 / 買電量		2015年3月1日	
	売電量 (kWh)	買電量 (kWh)	
1 2時	3.4	2.2	
1 3時	4.6	1.3	
1 4時	5.2	1.0	
1 5時	5.0	0.8	
日間	29.1	14.2	

①

②

③

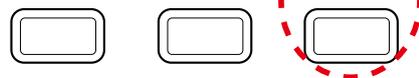
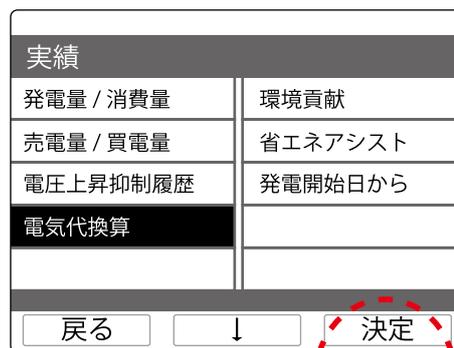
電力量を電気代に換算して確認する

消費量、売電量、買電量を電気代に換算して確認できます。
数値、またはグラフでの表示が可能です。

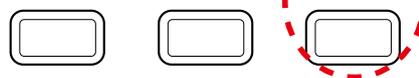
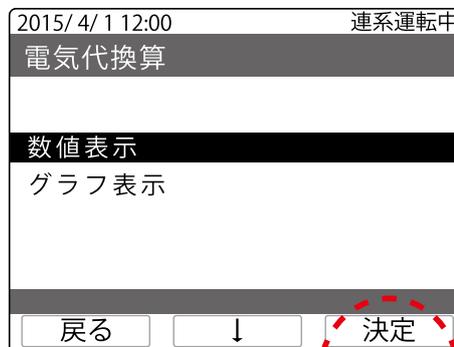
電気代に換算した電力量を見る

1 トップ画面で【実績】ボタンを押します。

2 【↓】ボタンで【電気代換算】を選択し、
【決定】ボタンを押します。



3 【↓】ボタンで表示形式を選択し、
【決定】ボタンを押します。



4 電気代換算を確認します

数値表示

《消費量換算》

消費量を電気代に換算した値です。

《売電量換算》

売電量を電気代に換算した値です。

《買電量換算》

買電量を電気代に換算した値です。

- ① 電気代換算の表示形式選択画面に戻ります。
- ② 前の期間(4ヶ月前)の実績に表示を切り替えます。
- ③ 次の期間(4ヶ月後)の実績に表示を切り替えます。

グラフ表示

《電気代換算グラフ》

換算した電気代を棒グラフで表示します。

赤:消費換算、緑:売電換算
黄:買電換算

- ① 電気代換算の表示形式選択画面に戻ります。
- ② 前の期間(前年)の実績に表示を切り替えます。
- ③ 次の期間(翌年)の実績に表示を切り替えます。

2015/4/1 12:00		連系運転中	
電気代換算		2015年	
	消費量 (円)	売電量 (円)	買電量 (円)
1月	11000	6300	3600
2月	11500	7500	3450
3月	12000	7200	3010
4月	9000	6900	3500
年間	43500	27900	13560



環境貢献の実績を確認する

発電量をもとに換算したCO₂(二酸化炭素)削減量の実績を確認できます。
同時に、CO₂削減量を樹木の本数や石油消費の節約量に換算した環境貢献の実績も確認できます。

1 トップ画面で【実績】ボタンを押します。

2 [↓] ボタンで【環境貢献】を選択し、
【決定】ボタンを押します。



3 実績を確認します。

《CO₂削減量》

石油火力発電と太陽光発電を比較した場合の、排出CO₂の削減量です。

《成木換算》

CO₂削減量の値が、樹木何本分のCO₂吸収量に相当するかを表示します。

《石油換算》

CO₂削減量の値から、火力発電で使用する石油をどれだけ節約できたかを求めたものです。



① ② ③

- ① 実績種別の選択画面に戻ります。
- ② 前の期間(前年)の実績に表示を切り替えます。
- ③ 次の期間(翌年)の実績に表示を切り替えます。



メモ.....

●CO₂削減量、成木換算値、石油換算値の計算式は以下のとおりです。

CO₂削減量：「太陽電池の発電量 (kWh)」×「0.31kg-CO₂/kWh」

成木換算値：「CO₂削減量 (kg-CO₂)」÷「14 (Kg-CO₂/本)」

石油換算値：「太陽電池の発電量 (kWh)」×「0.23 (l/kWh)」

※CO₂削減量は上記の計算にもとづく目安です。

省エネアシストの実績を確認する

1ヶ月の省エネ(節電)目標消費量に対して、どれだけ達成できるかを設定し、確認できます。初期設定では、前月の消費量(「前月消費量」)が目標消費量として設定されています。

1 トップ画面で【実績】ボタンを押します。

2 [↓] ボタンで【省エネアシスト】を選択し、【決定】ボタンを押します。



3 実績を確認します。

《電力グラフ》

目標値を折れ線グラフ、実績値を棒グラフで表示します。

赤:実績、青:目標

《目標値》

設定した目標消費量(P.31)です。

《実績値》

その月で実際に消費した電力です。



①実績種別の選択画面に戻ります。

②前月の表示に切り替えます。

③翌月の表示に切り替えます。

発電開始日からの実績を確認する

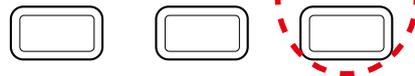
発電開始日からの発電量、消費量、売電量、買電量、自給率の積算が確認できます。

1 トップ画面で【実績】ボタンを押します。

2 [↓] ボタンで【発電開始日から】を選択し、【決定】ボタンを押します。

実績	
発電量 / 消費量	環境貢献
売電量 / 買電量	省エネアシスト
電圧上昇抑制履歴	発電開始日から
電気代換算	

戻る ↓ 決定



3 実績を確認します。

《発電量》

発電開始日からの積算発電量です。

《消費量》

発電開始日からの積算電力消費量です。

《売電量》

発電開始日からの積算売電量です。

《買電量》

発電開始日からの積算買電量です。

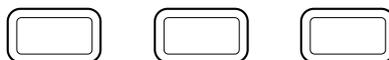
《自給率》

発電開始日からの自給率です。

2015/4/1 12:00 連系運転中

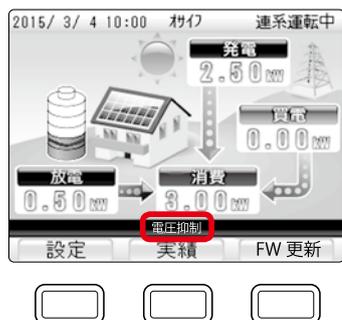
発電開始日からの実績	
発電量	9999999kWh
消費量	9999999kWh
売電量	9999999kWh
買電量	9999999kWh
自給率	99.9%

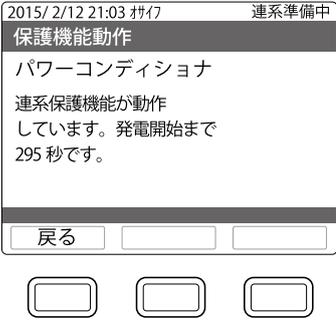
戻る



こんなときは

現象	対処方法	参照
発電電力が極端に低い 日射が十分なのに発電電力が低い	<ul style="list-style-type: none"> ● 発電電力は最大でも、太陽電池容量の70～80%程度が目安です。 ● パワーコンディショナの発電電力に制限がかかっている可能性があります。お買い上げの販売店に連絡してください。 	P.--
充電設定時間外に充電している	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定した充電時間帯以外でも電池の性能を維持するため、充電を行うことがあります。 	P.21
充電運転時に、住宅分電盤のブレーカーがオフになる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電力会社との契約ブレーカーのアンペアが不足している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 	P.20
本製品から放電しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品はダブル発電を防止するため、太陽光発電の売電時は蓄電池ユニットから放電しません。 	P.--
停電が発生したが、自動で本製品から出力されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立運転を開始してください。蓄電池専用回路のみに電力が供給されます。電力供給開始まで約5秒かかります。 	P.23 ～27
停電時に使用している機器が途中で使えなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電になると、本製品が自動で自立運転への切替えを行います。自立運転時の電力供給は、蓄電池専用回路のみです。停電時にその他のコンセントは使用できません。 ● 天候が悪く太陽電池で発電できない場合や蓄電池ユニットの残量がない場合は、出力が不安定になることがあります。出力が低下した場合、自動的に自立運転を停止するため、機器への電力供給ができない場合があります。 	P.23 ～27
発電量／消費量や売電量／買電量などの実績をリセットしたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定が変わると正常運転しなくなるおそれがあるため、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください。 	P.--
リモコンに「電圧抑制」と表示された	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーコンディショナが電圧の上昇を防ぐため、出力を一時的に抑えています。電圧が正常に戻ると表示は消えます。電圧上昇抑制機能が動作した日時を確認できます。 1. トップ画面で[実績]ボタンを押します。 2. [↓]ボタンで[電圧上昇抑制履歴]を選択し、[決定]ボタンを押すと、動作した日時が表示されます。 ● 「電圧抑制」が頻繁に表示される場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。 	P.--



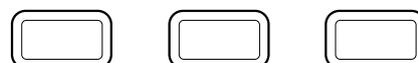
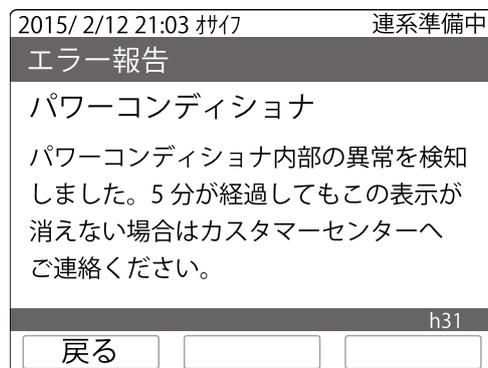
現象	対処方法	参照
<p>リモコンに「保護機能動作」と表示され カウントダウンが始まった</p> 	<p>●カウントダウン終了後に自動で通常動作に戻ります。蓄電池ユニットから放電中、家庭内の消費電力が急激に変動した場合に、保護機能[※]が働き一定時間連系運転を停止します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【消費電力の変動が大きい電気製品の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部のIHクッキングヒーター ・IH炊飯器 ・ドライヤーなど </div> <p>●頻繁に表示される場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。</p> <p>※蓄電池の電力は売電することができないため、売電を防止する機能</p>	<p>P.--</p>
<p>太陽光システムを併設している場合で、 リモコンの発電量の表示が少ない</p>	<p>●本製品以外に太陽光システムが併設してある場合、本製品のリモコンには併設されたシステムの発電量は反映されません。</p>	<p>P.17</p>
<p>リモコンの消費量の表示が「---」となる</p>	<p>●本製品以外に発電システム(太陽光システムやエネファームなど)が併設されている場合、正しい消費電力を測定できないため消費量を「---」と表示しています。</p>	<p>P.17</p>

エラーが発生したとき

エラーメッセージが表示ディスプレイに表示されません。

メッセージに従って対応してもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。*

※エリーパワーカスタマーセンターからDCスイッチカバー内部のDCスイッチ操作をお願いする場合があります。その際は下記注意と「各部の名称」(P.14)をご参照ください。



必ず守る

エリーパワーカスタマーセンターからの案内に基づきDCスイッチカバーおよびDCスイッチを操作ください。

誤った操作をした場合、故障の原因になります。



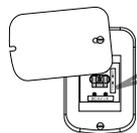
ぬれ手禁止

ご確認ください

DCスイッチカバー

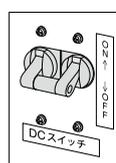


開閉前



開閉後

DCスイッチ



DCスイッチカバーを開けると、内部に左図のようなDCスイッチがあります。

異臭、異音、発熱など、本書に記載の無い異常が発生した場合は、住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーをオフにしてください。

その後、ただちにお買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。

濡れた手での操作は行わないでください。

万一の場合、感電の原因になります。

DCスイッチ操作(オン-オフ操作)は停止状態で行ってください。

故障の原因となります。(停止状態はP.57をご参照ください。)

DCスイッチ操作(オン-オフ操作)はすみやかに行ってください。

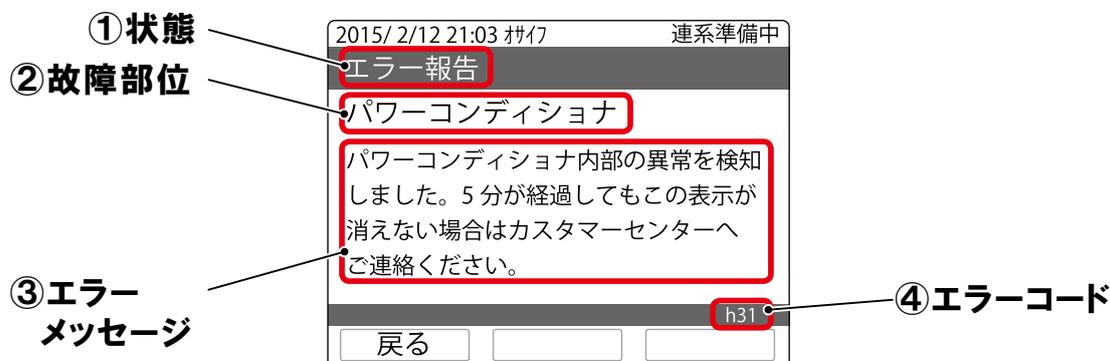
操作途中で固定したり、ゆっくり操作しないでください。故障の原因になります。

操作後はDCスイッチカバーを確実に閉めてください。

雨水などによる感電、故障の原因になります。

エラーメッセージ一覧

※ リモコン表示の”カスタマーセンター”は”エリーパワーカスタマーセンター”を表します。



①状態	②故障部位	③エラーメッセージ	④エラーコード
エラー報告	パワーコンディショナ	パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。カスタマーセンターへご連絡ください。	H04、H05、H06、H10、H11、H12、H16、H17、H18、H33、H34、H35、H36
		パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。5分が経過してもこの表示が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。	H02、H08、H14、H46、H54-H61 h02、h08、h14、h31、h32、h37-40、h42、h46、h54-h64、h86-h94
		パワーコンディショナの温度が高くなっています。周囲の確認をお願いします。対処してもこの表示が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。	H03、H09、H15、H47 h03、h09、h15、h41、h47
	蓄電池	蓄電池の異常を検知しました。異常要因が解決された後自動復帰します。翌日もこの表示が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。	A50、A57、A61、B08、B41、G12
蓄電池の異常を検知しました。カスタマーセンターへご連絡ください。		A01、A03、A05、A54、A60、B13、B14、B16、B20、C01、C03、C05、C10、G02	

①状態	②故障部位	③エラーメッセージ	④エラーコード
保護機能動作	パワーコンディショナ	自立運転用コンセントに接続した機器の消費電力が出力可能な電力より大きくなっています。使用している機器を減らして消費電力をさげてください。	h51-h53
		商用電源の異常を検知しました。正常に戻ってから約5分で運転再開します。5分が経過してもこの表示が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。	h66-h72、h77、h95
		太陽電池の出力電圧が高くなっています。この表示が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。	H01、H07、H13 h01、h07、h13
		商用電源の異常を検知しました。5分が経過してもこの表示が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。	H48-H50 h48-h50
状態	パワーコンディショナ	日射不足です。日射が回復するまでお待ちください。	h76
使用期限 残期間少	蓄電池	設計上の使用期限を間もなく迎えます。点検が必要です。カスタマーセンターへご連絡ください。	199

本書に記載のない異常や故障が発生したとき

蓄電システム本体から異臭、異音、発熱など、本書に記載されていない異常が発生した場合は、住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーをオフにしてください。その後、ただちにエリーパワーカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

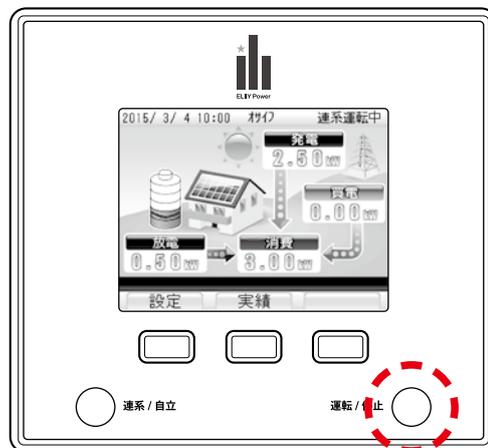
ご確認ください

住宅分電盤、住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーの位置、操作方法は、お買い上げの販売店または設置工事を行った電気工事業者に本製品をご使用前にご確認ください。
機器の引き渡しを受けた際に説明を受けられていない場合、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターへご確認をお願いいたします。

本製品を停止したい場合

1 リモコンの [運転/停止] ボタンを5秒以上長押しします。

2 [運転/停止] ボタンのランプが消灯します。



注意

- 本製品は、運転を停止しても待機電力を消費します。
- 本製品、および住宅分電盤の主幹ブレーカーやハイブリッドシステム用ブレーカーは長期間オフの状態にしないでください。
- 長期間使用しない場合の対応については、次項の「長期間使用しない場合の対応について」を参照してください。

本製品を再起動したい場合

上記手順で運転を停止した後、再度[運転/停止]ボタンを押して、本製品を再起動します。

長期間使用しない場合の対応について

本製品を長期間使用しない場合の対応について

本製品を長期間使用しない場合は、主幹ブレーカーやハイブリッドシステム用ブレーカーはオフにせず、商用電源から本製品への電力供給が継続されている状態にしてください。電池は一般に自己放電があります。また、本製品は、使用していない場合でも待機電力が必要となります。長期間使用しない場合は、電池が完全に放電してしまうことがあります。本製品には、電池に貯めた電力を使い切った場合に、自動的に電池に充電を行う機能が搭載されています。しかし、主幹ブレーカーやハイブリッドシステム用ブレーカーがオフの場合、本製品への充電が行えず、自動保護機能が働き、「使用停止」の状態となる場合があります。「使用停止」の状態となった場合には、再起動操作[※]が必要となりますので、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。

※点検、再起動操作は有償での対応となります。

出力制御ルールに関するご注意

省令改正に伴う新たな出力制御ルールに関するご注意

本製品は、平成27年1月26日に改正された再生可能エネルギー特別措置法による新たな出力制御ルールに対応した機器です。

再生可能エネルギーを最大限に導入するため電力会社の求めがあった場合、遠隔出力制御をおこなう機器の設置が義務付けられました。省令改正の詳細は経済産業省のホームページをご参照ください。(http://www.meti.go.jp/)

本製品は電力会社の遠隔出力制御に対応するために、インターネットへの接続が必要です。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。

製品の移設・譲渡・利用の終了について

本製品の修理や移設、再設置が必要となる場合のおねがい

お客様自身による本製品の修理や移設、再設置は絶対に行わないでください。また、このような作業が必要となる場合には、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください。

本製品は、運転を停止しても蓄電システム本体には電圧が残っていますので、感電やけがのおそれ、火災、蓄電システム本体およびリモコンの故障の原因になります。

本製品の使用を終了するなどの場合の電力会社へのご連絡のおねがい

本製品は、系統連系を行うシステムのため、以下のような場合には、お客様ご自身が契約されている電力会社に届出を行う必要があります。

詳しくは、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください。

【電力会社への連絡が必要となる場合の例】

- ①本製品の建物からの取り外しや移設を行う場合
- ②建物の譲渡に伴う電力会社との契約者名義変更が発生する場合
- ③本製品の使用を終了する場合

本製品がご不要になった場合の対応について

本製品は、リチウムイオン電池を使用しています。また、使用済みリチウムイオン電池を適正かつ安全に処理するためには、専門知識と設備が必要となります。そこで、本製品がご不要になった場合には、エリーパワー株式会社にてお引き取りいたしますので(有償)[※]、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください。

※お引き取りにあたっては、事前に所定事項の確認などをさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

【定置用リチウムイオン電池導入促進対策事業費補助金を受けられた方へ】

上記補助金を受けられた場合、原則として、本製品をご不要とされる前に、法定耐用年数(6年間)以上の期間、本製品を継続してご使用いただくことが必要となります。

重 要**災害によって被害を受けた場合の蓄電システムの取り扱い上の留意点**

蓄電システムが、地震や建物の倒壊などにより変形、破損、へこみなど衝撃を受けた形跡がある場合、水没または水に濡れた場合、瓦礫の中に埋もれた場合は、その程度によって感電、発熱・発火、有害ガス発生などの危険を生じる場合があります。

二次災害を未然に防ぐためにも、以下内容に留意し適切な取扱い、措置等をお願いします。

<処置方法 ~触らず、近づかないでください~>

- 被災した蓄電システムには絶対に手で触れず、近づかないでください。家庭や事務所等の分電盤ブレーカーが切れていても、内蔵の電池に電気が残っていますので、感電の危険があります。
- 使用中の場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵の電池から電解液が漏れ出ている場合は、絶対に触らないでください。誤って手で触れたり目や口に入った場合は、大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 蓄電システムが水没、または浸水した後、水が引いた状態でも危険な場合がありますので、絶対に手を触れず、近づかないでください。

<保管方法>

可能であれば、以下の処置をしてください。

- 分電盤ブレーカーを落としてください。
- 周囲に可燃物がある場合は取り除いてください。
- ブルーシート等で雨や水がかからないようにしてください。
- “触るな”等の注意喚起の張り紙をするなど、人が近づかないようにしてください。
- 蓄電システムの上や周囲に何も置かないでください。
- 落下物、転倒物などから衝撃を受けないような処置をしてください。

<連絡>

- 速やかにお買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターまでお問い合わせください。

点検とお手入れ

定期点検について

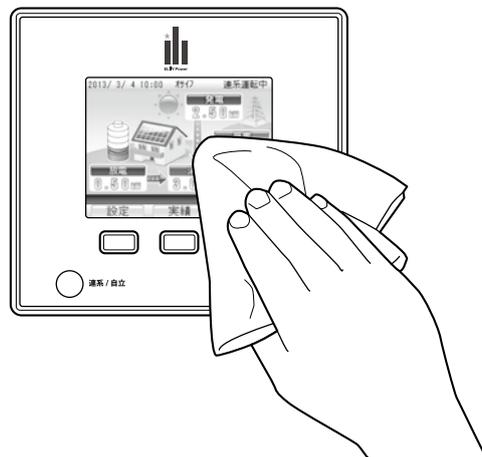
電気事業法ではシステムの保安の確保のため、システム保持義務をお客さまに求めています。エリーパワー株式会社では、本製品を長年安全にご使用いただくために、定期点検をおすすめしています。詳細については、お買上げの販売店にご相談ください。

お手入れ方法

本製品を長年ご利用いただくため、定期的なお手入れをお願いします。

リモコンのお手入れ

日常のお手入れでは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、水か中性洗剤を布に含ませ、よくしぼってから拭きとってください。表示ディスプレイを拭くときは、故障や破損の原因となりますので、強い力をかけないようにしてください。



禁止

表示ディスプレイをベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤で拭かない
(表示ディスプレイの変形、変質による故障のおそれ)

蓄電システム本体のお手入れ

蓄電システム本体の据付け状態を確認する

地震や強風により、蓄電システム本体の固定(アンカーボルトでコンクリート基礎に固定されています)にゆるみなど異常が発生することがあります。そのままの状態で使用した場合、蓄電システム本体の転倒によるけが、蓄電システム本体の故障の原因になります。据付け状態に異常がある場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

蓄電システム本体の周囲に落ち葉がたまらないようにする

周囲に落ち葉などがあると小動物や虫などが集まりやすくなります。小動物や虫などが蓄電システム本体に侵入して内部の電気部品に触れると、火災や故障の原因になります。



保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使い方について

お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください。
本書裏表紙に販売店名などの記入欄があります。お買い上げの際に記入されると便利です。

修理を依頼されるときは、まず本書の「こんなときは」でご確認ください。直らないときは住宅分電盤のハイブリッドシステム用ブレーカーをオフにして、保証開始日と下記内容をご連絡ください。

- 製品名：パワーイエ・シックス ハイブリッド
- 型式：EPS-20H-100 または EPS-20H-200
お買い上げの型式および製造番号をお伝えください。
※ごあんしんサービスに加入いただいている場合には、ご登録いただいている製造番号
情報を利用いたします。
- 故障の状況：できるだけ具体的にお伝えください。

※太陽電池については、エリーパワー株式会社による修理の対象外となります。太陽電池に関する修理につきましては、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中の修理について

保証期間中は、保証書の修理保証規定に従って修理保証を提供します（保証書が適用されない場合には有償となります）。

エリーパワー株式会社またはエリーパワー株式会社が定めた販売店、施工店以外により設置が行われた製品は、保証書の対象外となります（修理自体をお断りさせていただくことがあります）。

保証期間終了後の修理について

保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。(有償修理)
修理料金は次の内容で構成されています。

修理料金	
点検・診断作業料	エリーパワー株式会社が指定する技術者による訪問料、点検・診断に伴う技術料、交換作業料の見積作成などの費用
交換作業料	エリーパワー株式会社が指定する技術者による訪問料、部品交換または代替品との交換に伴う技術料などの費用
交換部品代または代替品代	交換部品代または代替品代および補助材料費
訪問に伴う実費	エリーパワー株式会社が指定する技術者を派遣する費用
運送費	交換部品または代替品の運送費(梱包費を含む)

補修用性能部品の保有期間について

エリーパワー株式会社では、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

エリーパワーカスタマーセンターにおけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

エリーパワー株式会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。折り返し電話をさせていただくためにお客様のお名前および連絡先をお知らせいただくほか、ご相談内容を録音させていただきます。また、エリーパワー株式会社は、お客様へのサービスを向上させる目的から、お客様からの電話受付および修理業務の一部を第三者に委託し、委託先に対して契約等により個人情報の管理を義務付けるとともに、適切な監督を行ったうえで、お客様の個人情報を委託先に開示・提供いたします。なお、お客様の個人情報のお取り扱いについてのお問い合わせは、エリーパワー株式会社までご連絡ください。

製品仕様

POWER iE6 HYBRID

項目		EPS-20H-100	EPS-20H-200
タイプ		停電時100V出力タイプ	停電時100/200V出力タイプ(受注生産品) ^{※1}
使用環境 (リモコ除く)	周囲温度	-20~40℃	
	湿度	5~95%RH ^{※2}	
	使用場所	屋外 ^{※3}	

※1 停電時に自動で蓄電池からの出力に切り替える場合には、別途、自動切替ユニット(市販品)が必要。

※2 氷結、結露が付かないこと。

※3 重塩害指定地域には設置しないでください。

ハイブリッドパワーコンディショナ

項目		EPS-20P-100	EPS-20P-200
本体	寸法	幅580 x 奥行250 x 高さ1,450mm	幅580 x 奥行250 x 高さ1,600mm
	質量	82.0kg	122.5kg
出力	出力電圧	連系運転 (通常時)	单相2線 202V
		自立運転 (停電時)	单相2線 101V ± 5V 单相2線 202V ± 5V
	定格出力 ^{※1}	連系運転 (通常時)	5.50kVA(5.50kW)
		自立運転 (停電時)	最大2.00kVA(2.00kW)
	周波数	50 / 60Hz	
	定格出力 可能時間	自立運転 (停電時)	150分
入力 (系統)	商用入力	单相2線式(单相3線に接続) 100/200V 5.50kW	
	商用周波数	50 / 60Hz	
入力 (PV)	最大入力電力	6.45kW	
	最大ストリング数	3 ^{※2}	
外部 インター フェース	L A N ポート	あり	
運転 モード		おサイフ / eco / バックアップモードの3種類	

※1 蓄電池ユニットからの最大出力は2.00kW。

※2 ストリングあたり2.15kW。

リチウムイオン蓄電池ユニット

項目		EPS-20B
電池	電池容量	6,208Wh ^{※1}
	電池種類	リン酸鉄リチウム
本体	寸法	幅655 x 奥行300 x 高さ1,060mm
	質量	130.0kg
出力	電池出力	2.00kW
入力	電池入力	1.50kW
	充電時間	4~5時間程度 ^{※2}
適合規格	蓄電池	TUV-S、JET(SBA S1101)

※1 初期値での最大使用可能容量の目安は約5,000Wh。

※2 温度など電池状態により変動。

リモコン

項目		仕様
本体	寸法	幅130 x 奥行23 x 高さ120mm
	質量	260g
外部 インター フェース	L A N ポ ー ト	あり ^{※1}

※1 ECHONET Lite 規格書 Ver.1.10APPENDIX ECHONET機器オブジェクト詳細規定 Release E対応。

定期点検表(必要枚数をコピーしてお使いください)

点検対象	点検項目	点検内容	/	/	/	/	/	参照
周囲環境	ほこり、ガス	可燃性ガスや引火性溶剤が近くはないか						P.5
	温度、湿度	放熱スペースが確保されているか						P.5
機器の状態	外観	据え付け状態に異常はないか						P.61
		配管が外れたり破損していたりしないか						P.5
	異常音	通常と異なる音が発生していないか						P.--
	におい	異臭などがいないか						P.--
リモコン	エラー表示	エラー報告画面が表示されていないか						P.55



ELIYY Power

エリーパワー株式会社

本社：東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビルディング19階
関西事業所：大阪市中央区南船場3-6-10 エミネント心斎橋ビル3階



<http://www.eliypower.co.jp/>

9996818147 発行日：2017年8月

本製品の購入店・販売店について

ご購入店・販売店名

TEL:

お使いの機種について

お問い合わせの際に、パワーコンディショナの側面のラベルに記載されている製造番号をお知らせください。

製造番号

設置日

年 月 日

- このユーザーマニュアルの内容は、改良のため予告なく変更することがあります。●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載のイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なります。●無断転載を禁じます。●落丁、乱丁本は、お取り替えします。●エリーパワー、ELIYY Powerおよびパワーイエ、POWER iEの名称・ロゴはエリーパワー株式会社の登録商標または商標です。
- 「ECHONETLite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。●エネファームは東京ガス(株)・大阪ガス(株)・JX日鉱日石エネルギー(株)の登録商標です。●記載の製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。